

別添 12

モニターツアー

アンケート・インタビュー結果

モニターツアー アンケート・インタビュー結果

令和2年度つたえる、感じる、つながる、森林×SDGs プロジェクト共同事業体

1

第1回

「森林×SDGs 親子で楽しむ森
の時間『ワデュケーション』体験モ
ニターツアー」

2020年10月30日（金）～10月31日（土）



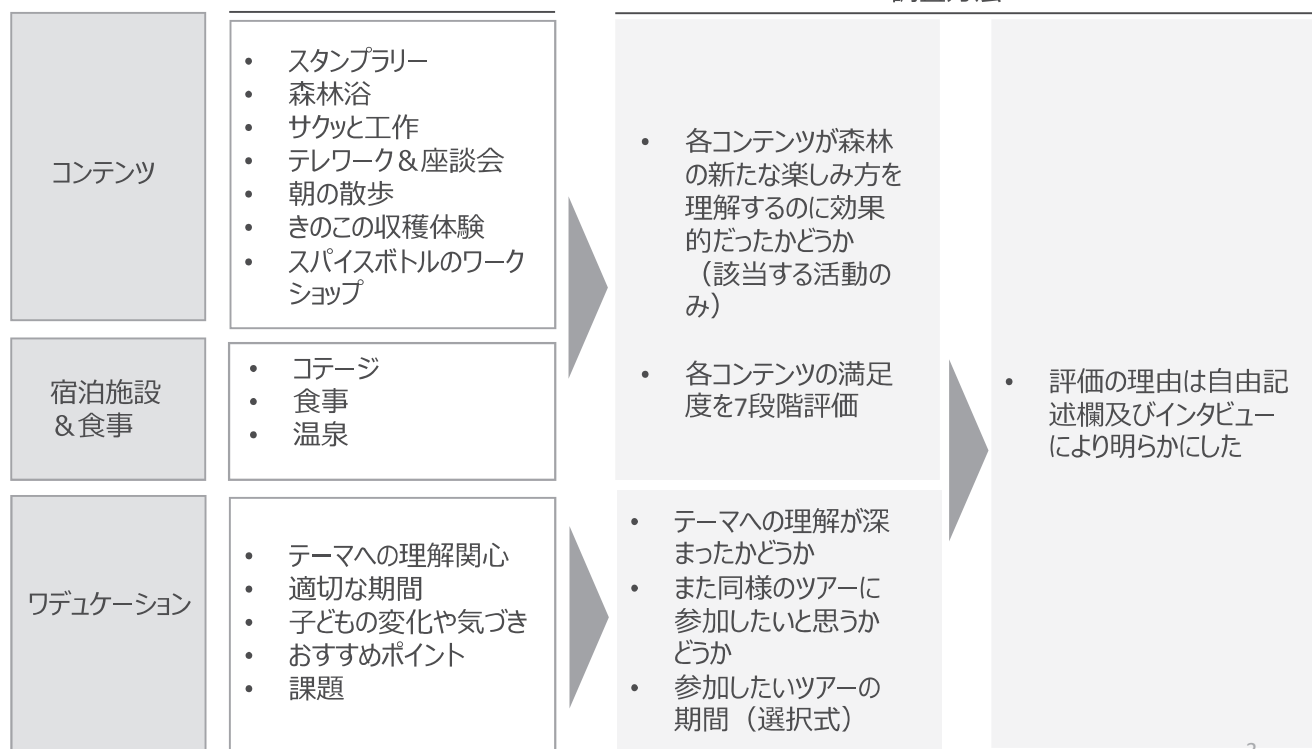
2

アンケート&インタビューによる効果測定

参加者の森林に対する理解・関心の増進等を把握するため、プログラム、宿泊施設&運営面、ワデュケーションの3つの大項目について、アンケート及びインタビューで効果測定を行った。

調査項目

調査方法



3

アンケート結果の要約

コンテンツ	良かった点	悪かった点
森林浴	・ 疲れていたココロとカラダがほぐれました。きちんと呼吸していなかったことに気付いたり、自分を振り返る時間になりました。 ・ 子どもたちと一緒にいることで、子どもたちが興味深そうに森で遊ぶ様子も一緒に見られたし、親子で森林浴をできたのは良かったと思う。	・ 時期的に生物が少ないタイミングだったため、昆虫など多くいる環境であれば、より森の営みを感じることができると思う。 ・ 5歳の女の子が深い階段を下りるのに苦労していた。特に対象年齢を意識したケアも必要だと感じた。
テレワーク	・ 子どもたちと離れて集中できる環境があることが良かった。 ・ 今回は森や山のキレイな風景が見えることはとてもぜいたくに感じたし、限られた時間で集中して仕事できた。	・ 外のネットワーク環境が整っていればシートを敷いて、外で仕事をしたいと思いました。指定の部屋以外でも仕事ができる環境があればより良いと思います。
サクッと工作	・ 道具を使って作品を作り上げる体験が良かった（普段、道具を使った作業は料理を手伝うくらいしかやっていないので）。 ・ 子供は森の中から素材を拾ってくることを楽しんでた。	・ 子どもの気分が乗らず参加できず残念でした。拾ってきたもので作るアート作品のプログラムや自然の中で絵を描いたりするプログラムもよいかもしれません。
きのこ収穫体験	・ 主催者のご家族がとても印象的だった。お子さんは2人ともごく自然に仕事の手伝いをしたり、火おこしをしたり、彼らの暮らし方が伝わってきた。 ・ 農家さんが大切に育てられたきのこに触れられ、食べ物のありがたさを感じました。 ・ 水の恵みや、気候を生かした農業に触れることができて良かった。	・ 今回収穫したきのこが、森林の中だとどのような場所で生えていたり、また類似する毒キノコもあることを伝えられたらより勉強になった。
スパイスボトルのワークショップ	・ ワークショップも良かったが、アトリエと住居のロケーションが良過ぎて驚いた。憧れの暮らし方だった。お子さんが両親の仕事を手伝う様子がとても良かった。	・ 北杜市の木の話や作品や商品に使用している木についての話もっと聞きたかったです。

4

コンテンツの訴求力向上のポイント

コンテンツに対する評価・改善案等（抜粋）

ワーケーション

- 子どもたちと離れて集中できる環境があったことが良かった。
- 外のネットワーク環境が整っていればシートを敷いて、外で仕事をしたいと思いました。指定の部屋以外でも仕事ができる環境があればより良いと思います。
- 完全在宅で仕事できて、さらに会社もワーケーションに仕事ができるような職場の理解のある職種、または、フリーランスなどの職種であれば、1週間から中長期のニーズがあるかも。

+

エデュケーション

- 都内でも自然の中を歩くことはありますが、「森のプロ」と歩く経験はなかったので、より楽しめたと思います。
- 親が森の歩き方を分からないので、親向けの教育プログラムがあるといい。
- ワデュケーションの課題としては、子どもが小学生以上の場合、学校をお休みしないといけないこと。2拠点居住も学校を転校するなど必要になる。

コンテンツの訴求力向上のポイント

- 子どもだけで参加でき、楽しめるプログラムとのセット
- ネットワーク環境の整備
- 中長期滞在向けのプラン・環境整備
- 森のプロフェッショナルによるガイド、コンテンツ形成
- 親も森での過ごし方を学べるような大人向けのプログラム
- デュアルスクールの仕組みの活用・体制整備

5

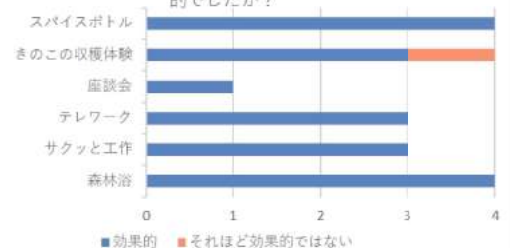
調査結果

各コンテンツの7段階評価（n=4）。すべてのコンテンツで「大変よかった」「よかった」「ややよかった」と回答。森林の新たな楽しみ方を理解するのに「効果的」との回答が多かった。一方で、きのこの収穫体験は「新たな体験ではない」との感想も。

■ 大変よかった ■ よかった ■ ややよかった ■ どちらともいえない
■ あまりよくなかった ■ よくなかった ■ 全くよくなかった



Q. この活動は森林の新たな楽しみ方を理解するのに効果的でしたか？



Q. どれぐらいの期間のツアーに参加したいですか？（複数選択可）



6

調査結果

宿泊施設の満足度は概ね高かった。他方、昼食や朝食は「ボリュームが多く食べきれなかった」といった感想が多かった。また「コロナ対策もあったと思うがもう少しワイワイしたかった」「ペットボトルの飲み物をたくさんいただいたがSDGsの観点からごみを減らす工夫があってもよかった」といった声があった。

■大変よかった ■よかった ■ややよかった ■どちらともいえない
■あまりよくなかった ■よくなかった ■全くよくなかった



コテージ



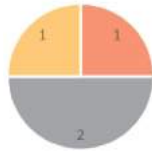
温泉



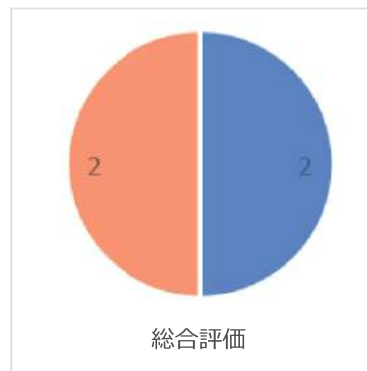
昼食



夕食



朝食



総合評価



事前案内



運営面

調査結果

(アンケート&インタビューの結果)

コンテンツ

スタンプラリー

- 写真を見て、施設内に隠されたスタンプを集めてくるアクティビティ
- 探検しながら施設を知る

コンテンツに対する評価

- 子どもたちが、地図をみて探す経験があまり無かったため、いい経験となった。
- 「新たな」というそういうわけではないですが、子どもたちにとってはとても楽しいプログラムでした。ただスタンプを探すのもよいですが、黄色の葉っぱをさがす、とかどんぐりを5つ取ってくる、虫の写真を取ってくる、などでもより自然を感じられて面白いかと思いました。
- べるがの森の様子を知るのにゲーム感覚で楽しかった。

森林浴

- 森林の中で様々なワークを通じて五感を使う
- 普段感じていない感覚に気付く

- 五感を使うきっかけになり、良かった（目を閉じて聞く、太陽の温もりを掌に感じる、川の在処を音から感じる、葉っぱの色を探す、自分と同じ年齢の木を探す、森で寝転ぶ、葉っぱの山にダイブする、木の密・疎の環境下で温度の違いを感じる）。
- 時期的に生物が少ないタイミングだったため、昆虫など多くいる環境であれば、より森の営みを感じることができると思う。
- 都内でも自然の中を歩くことはありますが、「森のプロ」と歩く経験はなかったので、より楽しめたと思います。
- 自分が知らない植物の名前や、木に触れると温度が違うことなどを教えてもらったことが良かった。都会では木に触れることをしたことがなかったため、新しい発見があった。
- 一番楽しみにしていました。疲れていたココロとカラダがほぐれました。きちんと呼吸していなかったことに気付いたり、自分を振り返る時間になりました。
- 樹に触れてみたり、落ち葉の上に横たわってみたり、森の中で「何かをする」のではなく森そのものを肌で感じることもできた。
- 大人だけであればもっと森林浴に集中できたのかなと思う反面、子どもたちと一緒にいることで、子どもたちが興味深そうに森で遊ぶ様子も一緒に見られたし、親子で森林浴をできたのは良かったと思う。

調査結果

(アンケート&インタビューの結果)

コンテンツ		コンテンツに対する評価
サクッと工作	- 木を切ったり、ボンドでくっつけたり、色をつけたり、木の工作 - 外で紅葉した葉っぱや枝を拾ってきてアートにしたり、工作に活用したりする	- 道具を使って作品を作り上げる体験が良かった（普段、道具を使った作業は料理を手伝うくらいしかやっていないので）。 - またここに戻ってきたくなる仕掛けがあったらいいな（例：作った作品が、大きな作品の一部になる仕掛け。大きな作品が出来上がったときに自分が制作者の一人になる）。 - 子どもたち自身が集中して取り組んでいた点が良かった。 - 残念ながら子どもの気分が乗らず参加できず残念でした。拾ってきたもので作るアート作品のプログラムや自然の中で絵を描いたりするプログラムもよいかもしれません。（実際に娘が外でお絵書きしたい、と言っていました） - 子どもは森の中から素材を拾ってくることを楽しんでいました。
テレワーク	- Wi-Fiが整った森林ビューの部屋でテレワーク - 大人が自分の時間を過ごす	- 子どもたちと離れて集中できる環境があることが良かった。 - 緑に囲まれた部屋で仕事できるのは目に優しい気がしました。リラックスして仕事ができそう。 - 外のネットワーク環境が整っていればシートを敷いて、外で仕事をしたいと思いました。指定の部屋以外でも仕事ができる環境があればよりよいと思います。 - Wi-Fiと電源がつながっていれば、大抵どこでも仕事はできる。今回は森や山のキレイな風景が見えることはとてもせいたくに感じだし、限られた時間を集中して仕事できました。少しの時間でもWORKの時間を取れたことは、体験としてありがたかった。 - 私は参加できなかったので想像ですが、森の中の建物で仕事をした場合、気分転換に森を散歩などできたら素敵だなと思った。
座談会	仕事、教育、生活環境などについて語り合う	- 各参加者の森林への関わり度合いを知るきっかけになった。せっかくなので、まきストーブも試すことができれば、木が生み出す熱、明かり、音を感じることができた。 - 座談会は働き方や移住、海外の話など、とても刺激的で良い時間でした。子どもや環境のことなどを真剣に考えてる方々と出会えて良かったです。都会に帰ってきて改めて感じたことの共有会などもあればさらに嬉しいです。

調査結果

(アンケート&インタビューの結果)

コンテンツ		コンテンツに対する評価
朝の散歩	ストレッチをした後、森の中を通り、近くの川まで散歩をする。	- 五感が研ぎ澄まされた（木々の香り、川の水の冷たさ、ふかふかの地面）川遊びができる時期にまた行ってみたい。 5歳の女の子が深い階段を下りるのに苦労していた。普段の運動量や経験値が山道だと出やすいので、いい経験になったと思うし、特に対象年齢を意識したケアも必要だと感じた。 - 天気もよく、とても気持ち良かったです。また北杜市を訪れたいと思う時間になりました。 - 朝の散歩は日常的にできやすそうで、山梨に滞在や住んだときのシチュエーションを考えるのに役立った。 - 朝食を森の中か川の側で食べるのもよいと思った。（寒い中、熱いコーヒーを飲みたい！）
きのこの収穫体験	- 北杜市の水ときこの話を聞き、3種のきのこ（なめこ、シタケ、ひらたけ）を収穫する。 - パッカージンをしてお土産として持ち帰る。	- 森林の生産物であるきのこが成長する観察、収穫する楽しさを感じることができた。 - 今回収穫したきのこが、森林の中だとどのような場所で生えていたり、また類似する毒きのこもあることを伝えられたらより勉強になった。 - 都会で今の生活をしている中で、きのこがどうやって育てられるのかを体験できることはなく大人になっていくのでしょうか。もちろん私もでした。農家さんが大切に育てられたきのこに触れられ、食べ物のおりがたさを感じられました。 - 小学生のお子さんたちが体験を手伝ってくれましたが、子どもたちが親の生業の手伝い方を知り、彼らの暮らしへの誇りが伝わり、自然と日々遊ぶことが「家族の文化」としてあり、とても良い感じに思いました。 - 森林を直接的に感じるわけではなかったですが、水の恵みや、気候を生かした農業に触れることができてよかった。 - 主催者のご家族がとても印象的だった。お子さんは2人ともごく自然に仕事の手伝いをしたり、火おこしをしたり、彼らの暮らし方が伝わってきた。移住や暮らしかたについて奥様に訪ねたところ、とても丁寧に答えてくださった。

調査結果

(アンケート&インタビューの結果)

コンテンツ

きのこの収穫体験 & 昼食づくり	- 収穫したきのこできのこ汁と羽釜で炊いた新米ご飯、きのこソテーを作って食べる。 - 自分たちで火をつけたり、料理をする。
スパイスボトルのワークショップ	- 好きな木を選び、特殊な工具で穴をあけ、磨き、オイルを塗り、スパイスボトルのキャップを作る。 - 作ったボトルを持ち帰り、日常で使うことができる。

コンテンツに対する評価

- 釜で炊き上げるご飯、収穫したばかりのきのこ汁、きのこソテー本当においしかった。
 - 火加減の調節が難しいことも経験になった。
 - 自生している植物を紹介してもらった（小松菜、バカなす）。
 - 採れたてきのこ新米ごはん、羽釜でみんなで作るなんて、絶対に東京都ではできない体験でした。最高に幸せなごはんでした。娘もおいしいー！とたくさん食べていました。
 - 純粹にきのこが見た目も味も素晴らしく感動した。
 - こんな風に日常的に屋外で作って食べる生活をしたいなと思った。
 - 子どもがこれをきっかけにきのこにとっても愛着を持つようになりました。帰路後。
-
- 作品作成後、庭で遊ぶことができた。
 - 木の種類によって削るときの香りが違う、というお話が印象的でした。木のあたたかさを感じられる体験でした。
 - 「森林の新たな楽しみ方」という点でも良かったと思います。
 - 北杜市の木の話や作品や商品に使用している木についての話をもっと聞きたかったです。
 - また、移住した方のお話がきけ、実際の生活を感じられたのも印象的でした。
 - 子どもが木材や機械に触れることができて良かった。
 - 木の香りや木に色々な種類があることを感じることもできた。
 - ワークショップもよかったが、アトリエと住居のロケーションが良すぎて驚いた。憧れの暮らし方だった。きのこ農家一家同様、お父さんが両親の仕事を手伝う様子がとてもよかった。
 - こんなセンスの良い方々が移住しているのだなと知ることができたことも良かった。

11

調査結果

(アンケート&インタビューの結果)

宿泊施設 & 食事

コテージ	木の温もりが感じられるべるがのコテージ
食事	べるがのサラダボウルキッチンのお弁当、ディナーbuffet、地元の定食屋さんの朝食デリバリー
温泉	尾白の湯

宿泊施設 & 食事に対する評価

- 暗闇を体験することができた。星空が最高だった。
 - 森の中でハンモックに揺られながら、時間を過ごすことができた。
 - 泊まらせていただいたお部屋はどちらかというと昔のおばあちゃんの家、のような雰囲気でした。笑 今度訪れた際にはログハウス型の方にも泊まってみたいです。
 - 部屋ではあまりゆっくりする時間はなかったかな。少し部屋でゆっくりできても良かったかも
 - 素敵なお部屋でした。また行く機会があれば、まきストーブも使ってみたい！
-
- お肉が沢山入っており、満足。
 - 容器や食器に対して、環境配慮への意識を強く感じた。
 - 食べきれなかったのが申し訳なかった。
 - とてもおいしかったです。子どもには量が多いかなと思いました。（通常でも提供されているメニューなのでしょう？）
 - コロナ対策もあったと思うが、他家族の様子も分からないままだったので、もう少しワイワイできたら良かった。
 - 某社さんの協賛ということでペットボトルをたくさんいただいたが、SDGsなどの表現もされてらっしゃるので、ゴミを減らす工夫をされても良いのかなと思いました。うちではここ最近ではペットボトルの飲み物はほとんど購入せず、マイボトル持参してたりするので、給水ポイントなどがある方が、今回のプログラムにはふさわしいのかなと思います。手間はかかってしまっていますが。
-
- 露天風呂が二つもあり、楽しめた。
 - 子どもたちはしょっぱさに驚いていた。
 - とても気持ちよかったです。娘も大喜びでした。
 - 湯冷めしないかと心配しましたが、帰りもぼかぼかでした。
 - ゆったりできる露天風呂が大変よかった。

12

調査結果

(アンケート&インタビューの結果)

ワーケーション&エデュケーション

テーマへの理解関心	テーマへの理解が深まったと思うか
	また同様のテーマのツアーがあれば参加したいと思うか

ワーケーション&エデュケーションに対する評価

- エデュケーションが森林だけでなく、地域も学びかけになったことが良かった（豊富な水資源、河川の砂の白さ、しょっぱい温泉）。
 - どういものかは理解できたのですが、やはりあのような環境にいくならバケーションを最大に満喫したい、と思ってしまいました。
 - また、自然体験という意味では子どもにとっても素晴らしい機会だったのですが、「教育（エデュケーション）」という意味ではもう少し深めた学びがあるとよいと思いました。（例えば、あの川はどこからきてどこまで続くのか、都内の川とはどんな差があるのかとか、目の前にしたからこそ学べるものなど）
 - 2家族の仕事を見せていただいたことで、自然の中での仕事・生活・遊びを一つにする暮らし方をイメージすることができた。
-
- 国土の7割が森林ということを知るきっかけに繋がていきたい。その資源を生かし切れていない現実も知っていきたい。
 - 会社の理解という点ではリモートワークよりもさらにまだまだ課題はあると感じます。
 - また、未就学児という点では、目の届かない知らない土地・初対面の人、という安心・安全面の課題もあるかなと思いました。
 - 親子の自然体験・教育というツアーがあればぜひ参加したいです。
 - 子ども親も森で学べるのがたくさんあると感じたため。
 - もっと自然を五感通じて感じていたい。もっと日常にできたらなと思っています。

13

調査結果

(アンケート&インタビューの結果)

ワーケーション&エデュケーション

子どもの変化や気づき	森林体験を通じた子どもの変化や気づき
森林空間におけるワーケーション&エデュケーション	- 森林空間の魅力 - おすすめポイント

ワーケーション&エデュケーションに対する評価

- 自分たちで発見する喜び、その喜びを伝えたい感情が溢れていた。
 - 生き物との触れ合いを楽しんでいた（犬、猫、かえる、とんぼ）。
 - 野草の種が絡みついて、外すのに苦労していた。
 - 子どもたちは直感で自然を楽しむことができるんだな、と思いました。伸び伸びと駆け回り、気になるものを手に取り、気に入ったものを集めてくる。この経験・時間がどれだけ娘にとって大切な時間か、改めて考えました。
 - 友達と森があれば思い切り楽しく遊べることを（親も子も）実感した。
 - 木工すること、きのこの収穫などやったことのないことをやってみてできたことが自信になったように、木工や収穫なら「俺できるよ」と言っています。
 - きのこの育つ様子、収穫体験を通じきのこに愛着が湧いたようで、食卓にきのこがあると、反応し・モリモリ食べるようになりました。
-
- 普段忘れがちな感情に気付くことができる。暑い、寒いのは都心でも日々感じているが、寒い森林空間の中でも掌で日の光を感じるなど、自然の中に暖かさが存在していることを忘れがちだと感じていた。
 - 都会にいたときに感じるストレスが軽減し、気持ちよく仕事ができる状態になれること。普段からテレワークをしているが、森林空間では集中度合いが違っていたと感じている。
 - しっかり呼吸ができていく感じがして、体も調子がよい気がします。森できれいな空気を吸ったときに、都会は空気がきれいでないこと、日々仕事と子育てに追われほっとする時間がとれていなかったこと、及び深呼吸が出来ていなかったことに、気付きました。
 - 都会では、子どもの歩く速さで歩けない。人が多すぎて、つい早く歩いてしまい、子どもの目線の高さ、気持ちに合わせられない。とにかく、モノや情報にあふれていたりと、時間に追われているので、木に囲まれて、無駄なものがない空間の中で、邪魔されことなく、自分のことを考えることができた。
 - 景色がキレイで、心が落ち着くこと。
 - それまで知らなかった周囲の家族と仲良くなるきっかけが溢れていること。

14

調査結果

(アンケート&インタビューの結果)

ワーケーション&エデュケーション

ワーケーション &エデュ ケーションの 課題	・ ワーケーション&エ デュケーションの課 題は何だと感じた か
---------------------------------	--

総合評価	・ 総合評価
------	--

ワーケーション&エデュケーションに対する評価

- ・ プログラムの少なさ。おそらく、自分たちで同じことを体験したいと思っても見つけることが難しい。各地域にあったプログラムが作成され、ツアー化されると参加しやすい。
- ・ 仕事場の理解・・・リモートワークがOkであっても所定労働時間の壁など。
- ・ 対象になる世帯が限られる。
- ・ 義務教育への影響・・・学校休ませてOK?
- ・ 未就学児の場合、仕事できる?・・・親以外に保育者がいるか、離れていられる時間は必須(一緒にいて仕事はなかなかハード)
- ・ 気軽さ・・・都内でふらっと行ける、のも重要。子連れ旅は移動や荷物の多さがネック(+PCはなかなか大変でした)
- ・ 親が働いている間、子どもをどのように遊ばせるかということ。今回のように一緒に遊んでくれる人がいれば良いが。
- ・ テレワークなどは全く問題なし。

- ・ 参加者の人数、年齢層の設定がよかった。子どもたち同士もすぐに打ち解けることができ、遊びと学びの両方が体験できた。
- ・ 娘と二人というのは大変なこともありましたが、とてもよい経験になりました。
- ・ まだじわじわと思い出しでは感動するし、また行きたいと思います。
- ・ 子ども同士の交流や同じ興味をもって参加した親御さんとの出会いも良かったです。
- ・ 改めて、働き方、生活、仕事、子育て、環境問題などについて考えるきっかけとなりました。
- ・ とても楽しく、自分たちの今後の暮らし方の参考になりました。また北杜市を初めて知る機会としては大変よいセレクトの体験をできたと感じています。

15

第2回

「森林×SDGs ポスト・コロナ時代のNew Standard探求モニターツアー」

2020年11月24日(火)～11月25日(水)



16

アンケート結果の要約

コンテンツ	良かった点	悪かった点
森林セラピー	- 専門家の説明を聞きながら歩くことで、自分だけでは見落としてしまうもの、ことに気付くことができた。 - オシャレな休憩所でのおいしい食事や、きれいなトイレがあるところもアピールポイントになると感じました。	普段から登山やハイキングをやっている人には少し物足りなく感じる気がした。一方、そういうことをやったことのない人にとっての入り口となるにはよいのかもれない。
製材所見学	製材所も初めての方にとっては、その複雑な背景の理解や製材の大変さについて理解する機会になると思います。	できれば木を倒すところから製材まで等、一貫してプロセスを見てみたい。
グランピング	- 都会に生きる人の、森への入り口にうってつけの施設である。 - 純粋に食事体験、宿泊体験としてレベルの高い時間を過ごすことができます。	グランピングということで大変便利であったが、一方、「自然の中で休む」という感覚があまりなかった。もう少し自然を静かに楽しめる仕掛けがあるとよいと感じる。
たき火を囲んだ対話セッション	- 森林という体験の比重が大きいテーマにおいて、言語化に取り組むことは終わった後の継続する感覚づくりにはならないものだと感じます。 - 火を囲んでの話は、普段できるものと異なるので楽しい。	開始時間が予定より遅くなってしまったこと、雨が降ってきてしまったことなどがあり、十分に満喫できなかったのが残念でした。
テレワーク	- 仕事をしながらふと窓の外を見るだけで、ストレスが抜けていくよう。 - カメラ製作の見学体験が素晴らしかったです。 - 森林への理解・関心という意味では、「カメラに乗って湖から森の四季を楽しむ」というのがとても良く、森林への関心を高めると感じました。	特にテレワークの場所として特殊ではないと感じた。もし窓の外に雄大な湖が広がる、等の特徴があれば普段とは違った集中力を持てるのかもしれない。
クロージングセッション	- 立場に関係なく話し合えたのが良かった。 - 改めてディスカッションの時間が持てることはとても重要なので、なくてはならない時間だと思っています。 - 地域のプレーヤーの方々と話せるのは面白い。	- 少し設定がふわっとしていたので、もう一息踏み込んだ設定でも十分ついていけるかと思っています。 「森林との価値」というテーマと「地域創生」というテーマがごっちゃになってしまっている感じがした。

17

コンテンツの訴求力向上のポイント

コンテンツに対する評価・改善案等（抜粋）

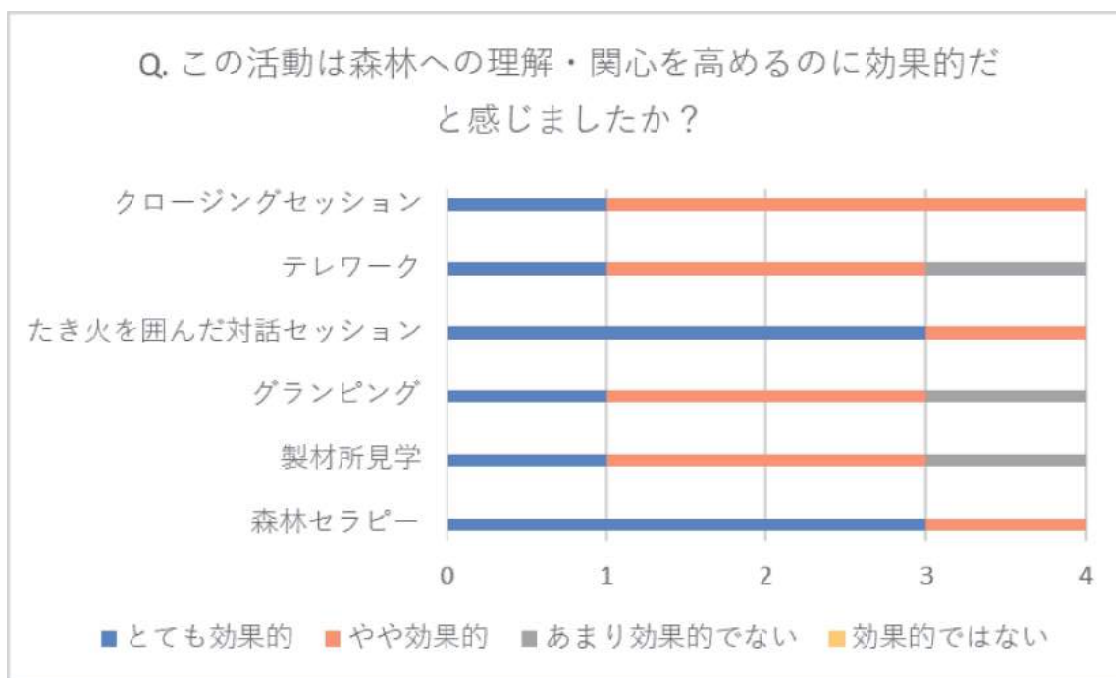
コンテンツの訴求力向上のポイント

ライト層へのPR	（森林セラピー）オシャレな休憩所でのおいしい食事や、きれいなトイレがあるところもアピールポイントになると感じました。 （グランピング）都会に生きる人の、森への入り口にうってつけの施設である。 （グランピング）純粋に食事体験、宿泊体験としてレベルの高い時間を過ごすことができます。 （テレワーク）仕事をしながらふと窓の外を見るだけで、ストレスが抜けていくよう。	- オシャレで設備が整った施設（森林セラピーロードの休憩所、グランピングサイト、コワーキングスペース等）や美味しい食事などをアピール - 森林での過ごし方の具体的なイメージが湧くような情報発信
楽しめ方や過ごし方の提案	（森林セラピー）専門家の説明を聞きながら歩くことで、自分だけでは見落としてしまうもの、ことに気付くことができた。 （製材所見学）製材所も初めての方にとっては、その複雑な背景の理解や製材の大変さについて理解する機会になると思います。	- 専門家（森林セラピーガイド等）による説明が体験の価値を高める - 林業の課題や自身の生活とのつながりを知り、考える機会
地域との接点づくり	（たき火）森林という体験の比重が大きいテーマにおいて、言語化に取り組むことは終わった後の継続する感覚づくりにはならないものだと感じます。 （たき火）火を囲んでの話は、普段できるものと異なるので楽しい。 （クロージング）地域のプレーヤーの方々と話せるのは面白い。	- 体験による気づきや理解をより深めるために、参加者同士の対話や地域の人とのディスカッション・交流といった機会を創出 - 地域の人を知るきっかけを提供し、人と人とのつながりを生み出す

18

調査結果

各コンテンツの4段階評価（n=4）。森林セラピー、たき火を囲んだ対話セッションでは、3人が「とても効果的」、1人が「やや効果的」と回答しており、森林への理解・関心を高めるのに効果的と思われる。次いで、クロージングセッションも評価が高かった。一方、製材所見学、グランピング、テレワークでは「あまり効果的でない」との声もあった。



19

調査結果

（アンケートの結果）

コンテンツ		コンテンツに対する評価
森林セラピー	Q.「登計（とけ）トレイル」での森林セラピーは、森林への理解・関心を高めるのに効果的だと感じましたか？	- 専門家の説明を聞きながら歩くことで、自分だけでは見落としてしまうもの、ことに気付くことができた。 - 強制的（？）に横になる時間を持てたことで、森林との一体感を得られた。 - 山の上の小屋、思っていたものより百倍お洒落だったので、気持ちが上がった。 - 足元の良さを含めて、気軽に参加できる森林体験。ストレスなく入っていける体験は、いわゆる田舎には無い体験で貴重です。東京都ならではの体験として価値づけしていけるものだと感じました。 「ハイキング」という言葉を使わず、「森林セラピー専用ロード」としていることで、気合が不要で誰でも参加できそうな雰囲気を通り、疲れることなく癒やしの散策を楽しめました。途中にあるオシャレな休憩所でのおいしい食事や、きれいなトイレがあるところもアピールポイントになると感じました。このように直接森林に行くことが森林への関心を高める一番の近道だと思います。 - 普段から登山やハイキングをやっている人には少し物足りなく感じる気がした。一方、そういうことをやったことのない人にとっての入り口となるには良いのかもしれない。ターゲットを誰に定めるのかで上記論点の正解は変わるような気がしました。

20

調査結果

(アンケートの結果)

コンテンツ		コンテンツに対する評価
製材所見学	Q.「東京・森と市庭」での製材所見学、森林空間活用等に関する取組事例紹介は、森林への理解・関心を高めるのに効果的だと感じましたか？	・ 林業がいま置かれている厳しい現実を知ることができた。 ・ 子どもや若い人に、ぜひ体験してほしいと思う。 ・ 講師の方の貴重な経験、クリエイティブな挑戦について学ぶ機会として貴重でした。製材所も初めての方にとっては、その複雑な背景の理解や製材の大変さについて理解する機会になると思います。 ・ 木材という生活とは切り離せない重要なものを作っているにも関わらず、林業が衰退しているのはなぜか。企業向けビジネスは上手いかなかったのはなぜか。人と森林との関りを改めて考えるいい機会でした。 ・ 特に面白くなかった。できれば木を倒すところから製材までなど、一貫してプロセスを見てみたい。
グランピング	Q.「サーカスアウトドア」での滞在（食事、宿泊設備、エンターテインメントを含む）は、森林への理解・関心を高めるのに効果的だと感じましたか？	・ 都会に生きる人の、森への入り口にうってつけの施設である。 ・ 通常のキャンプにはハードルの高さを感じている人も、ここならお洒落に楽しめる。 ・ 一期一会を感じる宿泊として非常に貴重な機会です。また、純粋に食事体験、宿泊体験としてレベルの高い時間を過ごすことができます。一方で、全体とのつながり、整合性を考えると、シンプルにキャンプ or ホテルでも特に問題ないかもしれません。 ・ 私のふだんの生活では体験できないようなとても素敵なオトナの世界でした。森の中での滞在という意味で、森林への関心を高めるのが目的であれば、もう少し明るい時間から滞在できれば良かったです。 ・ グランピングということで大変便利であったが、一方、「自然の中で休む」という感覚があまりなかった。これならホテルでも十分な気がする。もう少し自然を静かに楽しめる仕掛けがあると良いと感じる。

21

調査結果

(アンケートの結果)

コンテンツ		コンテンツに対する評価
たき火を囲んだ対話セッション	Q. 参加者5名でのたき火を囲んだ対話セッションは、森林への理解・関心を高めるのに効果的だと感じましたか？	・ 森の中、火を囲むと、人間は本音が出るもの。そういう時間が人を解放してくれるのだと思う。 ・ 言語化の時間を設けることは常に重要だと思います。特に、森林という体験の比重が大きいテーマにおいて、言語化に取り組むことは終わった後の継続する感覚づくりにくはないものだと感じます。 ・ 今回のツアーの一番のポイントだったと思うが、開始時間が予定より遅くなってしまったこと、雨が降ってきてしまったことなどがあり十分に満喫できなかったのが残念でした。みなさまのビジネスに対する意識の高さに怯みましたが、興味深いお話がたくさん聞けて良かったです。 ・ 火を囲んでの話は、普段できるものと異なるので楽しい。
テレワーク	Q.「Okutama+」での施設見学・テレワークは、森林への理解・関心を高めるのに効果的だと感じましたか？	・ 仕事をしながらふと窓の外を見るだけで、ストレスが抜けていくよう。森のパワーは、建物の中にいても、仕事をしていても享受できると知った。 ・ ワーキングスペースとしては普通なのですが、カヌー製作の見学体験が素晴らしかったです。むしろ、カヌー製作という木を生かしたもののづくりについて学び、参加の機会も得られる場として展開することに価値があると思います。 ・ 木を木材とするだけでなく、さらに参加可能なもののづくりとして接することができる、非常に現代的な体験でした。 ・ 森林への理解・関心という意味では、カヌー作りをされている方のおっしゃっていた、「カヌーに乗って湖から森の四季を楽しむ」というのがとても良く、森林への関心を高めると感じました。 ・ 森林セラピーを組み込んだ企業研修における宿泊施設として面白いので、社内にも提案させていただきました。 ・ 特にテレワークの場所として特殊ではないと感じた。もし窓の外に雄大な湖が広がる、等の特徴があれば普段とは違った集中力を持てるのかもしれない。

22

調査結果

(アンケートの結果)

コンテンツ

クロージングセッション

Q. クロージングセッションでは、地域関係者を交え、森林の価値、森林との関わりを増やすための機会創出、効果的な発信方法などについてディスカッションしました。これは、森林への理解・関心を高めるのに効果的だと感じましたか？

コンテンツに対する評価

- 立場に関係なく話し合えたのが良かった。
- 改めてディスカッションの時間が持てることはとても重要なだけでなく、時間だと思えます。
- 少し設定がふわっとしていたので、もう一息踏み込んだ設定でも十分ついていけるかと思えます。
- 森林との関わりなのか、奥多摩地域との関わりなのか、よくわからなくなりましたが、最後に皆様と対話できたのがとても良かったです。
- 地域のプレイヤーの方々とは話せるのは面白い。一方で、「森林との価値」というテーマと「地域創生」というテーマがごっちゃになってしまっている感じがした。

23

調査結果

(アンケートの結果)

ツアー全体

森林との関わり

Q. ツアーではこれからの時代の働き方やライフスタイル、ビジネスと森林との関係性について探求してきました。ツアー体験を踏まえて、今後の仕事や生活でどのように森林（山村地域）と関わっていきたいと思いますか？

今後の森林との関わりに関するコメント

- 「森は、人を助けてくれる」「人は、人を助けなくてはいけない」だから.....人は、森に遊びに行こう！いつでも、森は待っていてくれるから。そんな発信をしていきたい。人の流れを変えるためには、20～40代女性の取り込みが欠かせない。お洒落で、ライトな入り口から誘い、実際に試してみても「深さ」を感じさせる、そんなアプローチが必要だと確信しました。
- やはり、カヌー制作の現場見学が最も重要な気づきを得られる体験でした。自分でも何か木材を生かしたもののづくりに素人でも参加できる＆プロとともに作れる機会がないかを探してみようと思います。特に、自然へのアクセスに取り組めるものを作れる、という点でカヌーというものの自体も素晴らしいものでした。また、本当にシンプルに、森の中からこそ触れられる、鳥や木々という命の豊かさに気付く時間でした。静けさや人工物からの距離を取るだけでなく、積極的に生命に触れる時間として、森に入っていく時間を持つことの大切さ、また、生命に触れる時間を持つことの大切さを感じました。これは、特に、仕事のパフォーマンスを上げる点で重要だと感じています。パフォーマンスを上げるために空白だけでなく、多くのゆらぎ（生命はゆらぎの源泉としての価値を持つと思います）に出会う時間を持つことが非常に効果的であることを感じました。
- 新型コロナウイルス感染が第三波で拡大しており、不要不急の外出を控えるように言われている毎日、ほとんどの人が「家にいるしかない」とストレスを抱えているのではないのでしょうか。少人数で、解放された空間である森に行くことは、この状況では数少ないリフレッシュ方法だと思うので、ある程度強制的に会社側からも森に行くことを促すことが、コロナ禍を乗り越えるきっかけになると思っています。私自身も、初の奥多摩、初のテント泊という経験で、森の良さを初めて知ったので、また家族や同僚・友人たちと伺いたいと思っています。
- 新しく興した事業を起点に、より森林へ、海へ、自然へ人々が動いていくような仕掛けを作ると共に、そういった人の活動が自然環境へポジティブなインパクトを与えるようなモデルを作っていきます。貴重な体験を、ありがとうございました！

24

別添 13

親子向けツアーのプレスリリース

【林野庁事業】子育て世代に向けた新たな森林の楽しみ方を提案 森林×SDGs 親子で楽しむ森の時間『ワデュケーション』体験モニターツアー実施

今まで森林と関わりの少なかった0歳～8歳の子どもを持つ3組の子育て世代が、森林空間におけるテレワークと休暇（バケーション）、森林環境教育プログラムなどの教育（エデュケーション）を体験する取材企画です。

株式会社かいはつマネジメント・コンサルティング

2020年10月27日 09時00分

317 いいね！ シェア	ツイート	はてな	素材DL	・・・ その他
--------------------	------	-----	------	------------

株式会社かいはつマネジメント・コンサルティング（本社：東京都渋谷区、代表取締役：岡部寛）と一般社団法人森と未来（本社：東京都世田谷区、代表：小野なぎさ）は、林野庁の委託事業「令和2年度 つたえる、感じる、つながる、森林×SDGs プロジェクト事業」の一環で、北杜市役所のご協力の元、10月30日（金）～10月31日（土）に、山梨県北杜市で「新たな森林の楽しみ方」として子育て世代に向けた「ワデュケーション」体験モニターツアーを実施します。一般公募で選ばれた都市部在住の親子3組が、森林空間におけるテレワークと休暇、森林環境教育プログラムなどを体験します。



水と緑と太陽に恵まれた山梨県北杜市。（出典：山梨県北杜市ウェブサイト）

森と人が共生する持続可能な未来の実現

持続的な開発目標（SDGs）に貢献する取組が重視される中で、SDGsの達成に向けた森林の役割に関心が集まっています。森林は、水資源の確保、気候変動の緩和、山地災害の防止などの「環境」保全のほか、森林・林業分野における雇用創出などを通じた「経済」の活性化、及び健康増進による人の生活の質（QOL）向上など「社会」へも貢献します。

参考：森林×SDGs（https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/genjo_kadai/SDGs_shinrin.html）

林野庁は、森林の持つ多面的機能を持続的に発揮させ、循環型資源である木材を将来にわたって供給するため、SDGsの様々な目標に関わる施策を実行しています。「令和2年度 つたえる、感じる、つながる、森林×SDGsプロジェクト」は、森林の新たな価値を伝え、人と森林の繋がりを強めることにより、森林と人それぞれにとって持続可能な未来を実現したいという思いから始動しました。

林野庁森林利用課山村振興・緑化推進室長 木下 仁からのメッセージ

忙しい毎日の中で森を訪れたり、便利な暮らしの中で木をつかったりすることは、少し面倒と感じるかもしれませんが、でも、その少しの手間や時間の大切さに気づき、私たちの暮らしが、森や木と関わったら、もっと幸せで心地いい暮らしに出会えるのではないかと。そんな気づきを感じ、それを多くの人に伝え、森や木と人とがつながるきっかけを作りたいという想いを込めて、このプロジェクトに取り組んでいます。

このツアーに参加された方の中に、小さな気づきが芽生え、それが人に伝わり、さらに多くの人が森や木とつながることを期待しています。

株式会社かいはつマネジメント・コンサルティング

フォロー

フォローすると...

フォロワー(0)

URL	http://www.kmcinc.co.jp,
業種	サービス業
本社所在地	東京都渋谷区恵比寿 1 - 3 - 朝日生命恵比寿ビル 10階
電話番号	03-5791-5083
代表者名	岡部 寛
上場	未上場
資本金	6000万円

検索

キーワードで検索

関連プレスリリース

銘匠光学 TTArtisan 35mm f/1.4 C 単焦点レンズ L（バネット）マウント発売
株式会社焦点工房
2時間前

【本が好き！】「本とトートでつながるルー プロジェクト」第1弾、太田市美術館・株式会社スーパージョーニクス
3時間前

NECレッドロケッツ【Vリーグ/バレー】に「首掛け型 空気清浄機」を無償提供
日本電気株式会社
3時間前

さとふると福井県越前町、コロナ禍で活動継続が危ぶまえる越前焼窯元を支援するた...
株式会社さとふる
3時間前

【愛知県観光誘客地域活動事業】常滑市の地域PR動画「泣きたいのに泣けない私」が...
愛知県
3時間前

プレスリリース ランキング



みずがき湖の紅葉（写真提供：北杜市役所）

子どもから大人まで楽しめる、新たな森林の価値を提案

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、テレワークを導入する企業が増えたことにより、働き方の選択肢が広がりました。一方で、おうち時間（STAY HOME）が増えたことにより、子どもの外遊びが減っています。本事業では、これまで森林との関わりの少なかった、都市在住の子育て世代を対象に、「新たな森林の楽しみ方」として、テレワークと休暇（バケーション）、森林環境教育プログラムなどの教育（エデュケーション）を組み合わせた「ワデュケーション」体験モニターツアーを実施いたします。

“森林浴”を活用し、企業研修や地方創生の活動を行う「一般社団法人森と未来」の代表 小野なぎさは、森林空間における「ワデュケーション」の可能性について、次のように語っています。



「森林環境が、ストレス緩和や免疫力向上など、健康の増進に効果があることは、科学的に実証されています。森林空間における『ワデュケーション』は、心身の健康を改善することで、大人たちの労働生産性を高めるとともに、自然体験を通じて、子どもたちの生きる力を醸成します。また、山村地域の森林空間を活用した新しい産業を生み出すことで、地域経済に貢献できます。」

モニターツアーの概要

- ツアー：森林×SDGs 親子で楽しむ森の時間『ワデュケーション』体験モニターツアー
- 期間：2020年10月30日（金）～2021年10月31日（土）1泊2日
- 場所：山梨県 北杜市
- 参加者：地方への移住や森林環境教育に関心のある、3組の親子（0歳、5歳、6歳、7歳、8歳の子どもを含む）
- 協力：北杜市役所
- 連携企業：白州・尾白の森名水公園「べるが」 (<https://www.verga.jp/>)、白州・山の水農場 (<https://www.yamanomizu.com/>)、アトリエヨクト (<https://www.a-yocto.jp/>)
- プログラム：
1日目 小淵沢駅待ち合わせ→白州・尾白の森名水公園「べるが」着…北杜市市長からの歓迎の挨拶・オリエンテーション→園内散策→昼食→森林浴体験→子ども：サクッと工作・大人：テレワーク体験→温泉→夕食→森×テレワーク座談会
2日目 朝のプログラム→白州・山の水農場訪問…きのご収穫体験・昼食→アトリエヨクト訪問…クラフトワーク体験・インタビュー→道の駅はくしゅう立ち寄り→小淵沢駅解散

いま話題

今日

今週

【Ground Y 2021 Spring / Summer Collection】 - Disney・Pixar「Toy Story」株式会社ヨウジヤマモト

待望のコラボ第三弾！ オン・インクレーンゲーム「MOLLY.ONLINE」限定でカバー株式会社

スペシャルプログラム「バイオハザード・ショーケース」を2021年1月22日（金）放株式会社カプコン

日本円デジタルコイン運営の日本暗号資産市場が4,000万円の資金調達を実施日本暗号資産市場株式会社

元ZOZO執行役員の田端信太郎氏がMOSHのマーケティング戦略顧問に就任。MOSH・MOSH株式会社

【永らくのご愛顧ありがとうございます】緊急事態宣言再発出にともない、東京都株式会社モンテローザ

みんな大好き！！しゃぶしゃぶ食べ放題の「しゃぶ食べ、3店舗で“もつ鍋と牛肉・三株式会社モンテローザ

緊急事態宣言！東京都足立区に寄贈！365回洗っても抗塵力を維持する【日本製】…宏福商事合同会社

【蔦屋書店】吉川晃司写真集『STAND UP KIKKAWA KC FILMOGRAPHY by 14…株式会社 蔦屋書店

楽天、川口市に「新型コロナウイルス唾液PCR検査キット」を提供楽天株式会社

Facebookで人気のプレスリリ

ハウスコム、FC浜松駅前店を移転！JR浜松駅により近い路面店にてリフ…ハウスコム株式会社

シングルマザーや母子家庭、ひとり親家庭の皆さまを応援！【WakeAi …株式会社WakeAi

食のDXを推進する「グッドイートカンパニー」が始動。～日本の食を愛…株式会社グッドイートカンパニ



白州・尾白の森 名水公園「べるが」森の宿泊棟（出典：白州・尾白の森 名水公園「べるが」ウェブサイト）



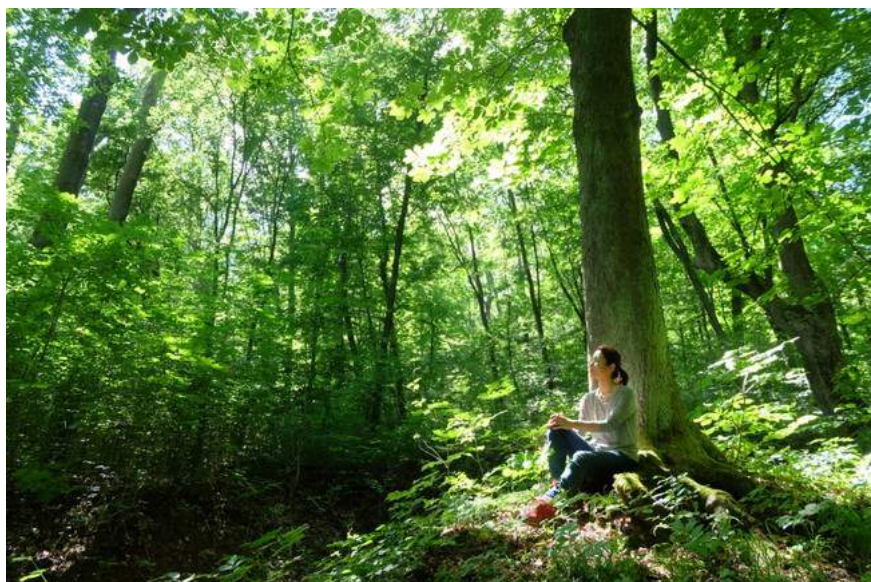
木の温かみを感じられる木造コテージ（出典：白州・尾白の森 名水公園「べるが」ウェブサイト）

- 本モニターツアーは森林の新たな楽しみ方や過ごし方を発信することを目的とする取材企画です。メディアの方々による取材歓迎しております。
- 10月30日（金）、10月31日（土）に、モニターツアー実施スタッフ、林野庁職員、参加者の親子3組、および移住経験のある地元の関係者に、直接取材が可能です。
- ツアー実施後に、ツアーの様子が分かる動画コンテンツを作成し、SNS等で発信を予定しております。ご関心のある方は、記載ある連絡先まで、お問い合わせください。

本モニターツアーのポイント

1. 親子一緒に森林浴体験

木々を観察したり、鳥のさえずりに耳を澄ませたり…。これまで森と関わりが少なかった都市在住の参加者に、森との触れ合いを通して、心と身体をリラックスさせ、感性を育む時間を提供します。小野なごさによるプログラム。



2. 親はテレワーク、子は木育体験

親と子に分かれ、お父さん、お母さんは、インターネット環境が整ったお部屋で、テレワークを体験。夕食後に、今後の働き方について話し合う座談会を開催します。子どもたちは、木材を使って工作体験。楽しみながら、木材に対する親しみや木の文化への理解を育みます。



インターネット環境の整ったテレワーク体験スペース（出典：白州・尾白の森 名水公園「べるが」ウェブサイト）



子ども向けの木工ワークショップ。木材に対する親しみや木の文化への理解を育みます。（出典：白州・尾白の森 名水公園「べるが」ウェブサイト）

3. 移住経験者との交流体験

「白州・山の水農場」と「アトリエヨクト」へ訪問。きのこ収穫体験やスパイスボトルのワークショップを通じて、地域の暮らし、仕事に触れていただきます。実際に山梨県北杜市に移住し、生活している方から、実体験を伴った移住のお話をお伺いします。



北杜市の綺麗な水で育まれた、山の水農場のきのこ。



アトリエヨクトで製作する木の蓋のスパイスボトル（出典：アトリエヨクトウェブサイト）

<参考情報>

株式会社かいはつマネジメント・コンサルティング（KMC） (<http://www.kmcinc.co.jp/>)

地域や人々の間の格差の縮小、雇用の創出、事業機会の拡大、地球温暖化対策、伝統文化の保護といった社会課題の解決を専門とするコンサルティング会社。国際協力機構（JICA）などが実施する政府開発援助（ODA）事業、国内省庁や自治体の地域振興、企業の海外へのビジネス進出にかかる各種コンサルティングサービスを提供する。日本のみならず、アジア、アフリカ、中東、中南米など世界70か国以上での業務実績を有する。持続的な開発を目標とするSDGs支援について豊富な知見と経験、SDGs達成のための取組に遍く精通している。

一般社団法人森と未来 (<https://www.fwithf.org/>)

都会に暮らす人々を地域の森につなぐ各種のサービスを提供する森林空間サービスの専門企業。代表の小野なぎさは、認定産業カウンセラー、森林セラピストの資格を有し、日本国内および中国北京市において、アドバイザー、研修講師、講演などの豊富な業務実績を誇る。2019年に森林浴を活用した健康対策、人材育成、地域支援に関する書籍『あたらしい森林浴』（学芸出版社）を出版した。

林野庁 令和2年度 つたえる、感じる、つながる、森林×SDGsプロジェクト

林野庁 森林利用課 山村振興・緑化推進室により受託し、株式会社かいはつマネジメント・コンサルティングと一般社団法人森と未来が共同事業体として実施している事業。

①森林空間を活用した自然保育や学校教育、企業研修等、様々な「教育」にかかる現状、ニーズ、課題を調査し、今後の森林環境教育の推進に向けた新たな方向性を検討すること、②これまで森林と関わりの少なかった都市住民や未来の社会の中核を担う中学生・高校生に対して、前者に対し森林の新たな楽しみ方を提案したり、後者とは未来予想図を作成する事業を実施、対外的に発信したりすることにより、森林に対する理解・関心を高めることを目的としている。

(参考：森林空間を活用した教育イノベーション検討委員会)
https://www.rinya.maff.go.jp/j/sanson/kan_kyoiiku/main5.html

このプレスリリースには、メディア関係者向けの情報があります。

メディアユーザー新規登録
無料

メディアユーザーログイン
既に登録済みの方はこちら

メディアユーザー登録を行うと、企業担当者の連絡先や、イベント・記者会見の情報など様々な特記情報を閲覧できます。
※内容はプレスリリースにより異なります。

プレスリリース > 株式会社かいはつマネジメント・コンサルティング > 【林野庁事業】子育て世代に向けた新たな森林の楽しみ方を提案 森林×SDGs 親子で楽しむ森の時間『ワデュケーション』体験モニターツアー実施

種類	イベント
ビジネスカテゴリ	政治・官公庁・地方自治体 自然・天気
位置情報	山梨県北杜市(イベント会場)
キーワード	移住 森林 森 子育て リモートワーク 木育 SDGs ワークेशन 持続的な開発目標 森林環境教育

プレスリリース素材ダウンロード

このプレスリリース内で使われている画像ファイルがダウンロードできます。

プレスリリース画像一覧



株式会社かいはつマネジメント・コンサルティングのプレスリリース もっと見る



【林野庁事業】森林空間を活用した
ポスト・コロナ時代の新しい働き
方・ライフスタイルを探求するモニ
タリングツアー実施
2020年11月19日 09時00分

別添 14

親子向けツアーの参加者募集要項

『令和2年度つたえる、感じる、つながる、森林×SDGsプロジェクト』は林野庁の事業です。

山梨県北杜市

森林×SDGs 親子で楽しむ森の時間 『ワデュケーション』体験モニターツアー

開催日：2020年10月30（金）～10月31日（土）1泊2日



山梨県北西部に位置し、ハケ岳、南アルプス山脈、奥秩父山塊といった山々に囲まれ、南には富士山も臨める北杜市。育ち盛りのお子さんと多忙な子育て世代に、森林の新たな楽しみ方や過ごし方を体験していただくため、「日常に取り入れられる森の時間」をコンセプトに、モニターツアーを実施いたします。ご家族を連れてワデュケーションを体験しませんか？

- 開催日：2020年10月30日（金）～10月31日（土）1泊2日
- 旅行代金／無料 ※大人2名、小人1名分。
- 募集人数／親子3組（小学生低学年のお子様を含む）
- 対象者募集期間：2020年9月25日～2020年10月4日

『ワデュケーション』なら3つの楽しみ方を体験できる！

ワデュケーションとは、仕事（work）、教育（education）、休暇（vacation）を組み合わせた造語で、休暇先で大人はテレワークを実施しながら、子どもたちは教育を受けるという新しい旅行のスタイルです。

楽しみ方①親子一緒にEducation体験

森の中をゆっくり歩き、五感で森を楽しむひと時。木々を観察したり、鳥のさえずりに耳を澄ませたり…。森との触れ合いを通して、心と身体をリラックスさせながら、感性を育む森の時間です。この機会に、森の健康効果について学んでみませんか？

森林浴ガイド：小野なぎさ

一般社団法人森と未来代表理事
産業カウンセラー、森林セラピスト
企業のメンタルヘルス改善に関わる事業に携わり、約10年間で、森林を活用した健康プログラムの開発、企業研修、健康リゾートホテル事業、海外のメンタルヘルス事業の立ち上げを経験。



楽しみ方②親はWork、子はEducation体験

宿泊施設内に、インターネット環境が整ったお部屋をご用意。テレワークを体験したり、今後の働き方について他の参加者と話し合う座談会を開催します。子どもたちは、森で拾った木材を使って、工作体験。楽しみながら、木材に対する親しみや木の文化への理解を育みます。



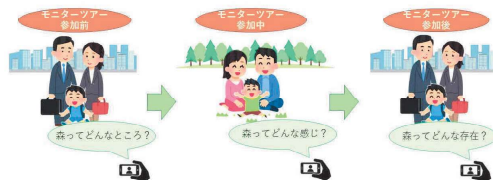
楽しみ方③親子一緒にVacation体験

家族揃ってBBQと、尾白川河岸の地下深くから湧き出でる温泉を満喫。沢山のミネラルを豊富に含んだ温泉につかることで、テレワークによる疲労回復が期待できます。露天風呂からの星空は必見です。



本モニターツアーは森林の新たな楽しみ方や過ごし方を発信することを目的とする取材企画です。取材にご協力いただける方を募集します。参加者は選考の上決定いたします。

参加ご家族には、ツアーの参加前、参加中、参加後に森林のイメージ等に関する簡単なインタビューを実施させていただきます。ツアー参加中には、お子様の様子をスマートフォン等で撮影いただき、動画素材の提供にご協力いただけます。ツアーの実施後にツアーの様子が分かる動画コンテンツを作成し、SNS等で発信しますのでご承諾の上、お申し込みください。



企画・実施

主催：令和2年度つたえる、感じる、つながる、森林×SDGs プロジェクト共同事業体

協力：北杜市

お問い合わせ：hashimoto.takuto@kmcinc.co.jp

tel 03-5791-5083（株式会社かいほつマネジメント・コンサルティング内） 担当：橋本、梅永

当企画は、林野庁の委託により令和2年度つたえる、感じる、つながる、森林×SDGs プロジェクト共同事業体が実施します。

森林×SDGs 親子で楽しむ森の時間『ワデュケーション』体験 モニターツアー（1泊2日）プログラムの流れ

10月30日(金)／1日目

9:55 小淵沢駅待ち合わせ
10:00 マイクロバスで宿泊施設に向かいます。

宿泊施設は、木の温かみを感じられる山梨県 白州・尾白の森名水公園「べるが」内森の宿泊棟です。



※ 1家族 1室ご利用

13:00 森林浴
14:30 子どもたちは、木材を使って工作体験。
大人は、「テレワーク」をテーマにした座談会へご参加ください。

16:00 温泉
18:00 バーベキュー



10月31日(土)／2日目

7:15 朝のお散歩

8:00 朝食

10:00 きのこと収穫体験。収穫後は、採ったきのこを使って、皆で昼食をつくります。

おいしいキノコの栽培には、北杜市の綺麗な水が必要です。



13:00 スパイスボットのワークショップ/
地域の暮らし・仕事に触れる。



15:00 帰り際には、道の駅に立ち寄ってお土産を購入。

16:00 小淵沢駅解散

※プログラムは都合により変更になる場合がありますので予めご了承ください。

【対象者・お申込方法】

- 対象者募集期間：2020年9月25日～2020年10月4日
- モニター募集人数：親子3組（小学生低学年のお子様を含む）
- 対象者：モニターツアーの為、以下の条件を満たされている方のみお申し込みいただけます。
 - ・ 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県にお住まいの方
 - ・ 小学校低学年のお子様と一緒にご参加いただける方
 - ・ 上記行程表通りのご参加が可能な方
 - ・ テレワークのご経験がある方、またはテレワークにご関心をお持ちの方
 - ・ ツアーの前後に、オンライン上で簡単なインタビューにお答えいただける方（所要時間：30分）
 - ・ ツアー中に、インタビューにお答えいただける方
 - ・ ツアー中に、お子様の様子をスマートフォン等で撮影することが可能な方、また、SNS・ウェブサイト、雑誌等の媒体に掲載することを予めご了承いただける方
 - ・ ツアーの様子をスタッフが撮影し、SNS・ウェブサイト、雑誌等の媒体に掲載することを予めご了承いただける方
- ※お申込み頂いた後、事務局で選考の上、参加可否をご連絡させていただきますので、予めご了承ください。

● お申込方法：

下記のURL、または右記のQRコードからアクセスし、フォームに必要事項をご記入の上、参加申し込みをお願いいたします。

<https://forms.gle/wCdu5iRwLfdVccS8>

参加申し込み締め切り：10月4日（日）

お問い合わせ：hashimoto.takuto@kmcinc.co.jp

tel 03-5791-5083（株式会社かいはつマネジメント・コンサルティング内） 担当：橋本、梅永

※お申込みによって得られた個人情報は厳重に管理し、モニターツアーの可否確認に関する問合せ等、御本人への連絡を行う場合に限り利用いたします。



- 旅行代金に含まれるもの含まれないもの：大人2名、小人1名分のご自宅から小淵沢駅までの往復電車代、行程内の現地移動費、宿泊費、プログラム参加費、食事代（朝1回、昼2回、夕1回）及び添乗員同行費用が含まれます。旅行日程に記載のない交通費等の諸費用及び個人的性格の費用（飲み物代、クリーニング代、電話代等）、傷害、疾病に関する医療費、任意の旅行傷害保険、定員以上の参加費は含まれません。
- 免責事項：ご参加者が以下の事由により損害を受けられた場合は当社は賠償の責任を負いません。
 - ①天災地変・気象条件・暴動又はこれらのために生ずる旅行日程の変更若しくは旅行の中止。
 - ②運送・宿泊機関の事故若しくは火災又はこれらのために生ずる旅行日程の変更若しくは旅行の中止。
 - ③官公署の命令、又は伝染病による隔離自由行動中の事故、食中毒、盗難、運送機関の遅延・不通又はこれらによって生ずる旅行日程の変更若しくは目的地変更・滞在時間の短縮。
 - ④新型コロナウイルス感染症感染拡大による旅行日程の変更若しくは中止。
- 旅行保険：安心してご旅行していただくため、ご参加者様の自己負担でレクリエーション保険にご加入いただきます。
- 雨天時の予定：雨天の場合であっても、ツアーは実施いたします。プログラム内容に多少変更がございますこと予めご了承ください。

別添 15

親子向けツアーの配布資料一式



森林×SDGs 親子で楽しむ森の時間『ワデュケーション』体験モニターツアー 参加のご案内

令和2年10月20日(火)

令和2年度つたえる、感じる、つながる、森林×SDGs プロジェクト共同事業体

この度は、林野庁「令和2年度 つたえる、感じる、つながる、森林×SDGsプロジェクト事業」で実施いたします「森林×SDGs 親子で楽しむ森の時間『ワデュケーション』体験モニターツアー」にお申し込みいただき、誠にありがとうございます。つきましては、ツアーご参加にあたり必要な情報を以下の通りご案内申し上げます。

1. モニターツアーの目的

本モニターツアーは森林の新たな楽しみ方や過ごし方を発信することを目的とする**取材企画**です。ツアー内容をSNS・ウェブサイト、雑誌等の媒体に掲載させていただきます。参加者の皆様には以下のとおり発信へのご協力をお願いいたします。

- ① ツアー前後に、オンライン上での簡単なインタビューを実施（所要時間：30分）
- ② ツアー中に、インタビューを実施
- ③ ツアー中に、子どもの様子をスマートフォン等で撮影し、後日動画素材を提供
- ④ ツアー後に、アンケートに回答
- ⑤ ツアー後に、ツアー内容や、今後の森林との関わり方についてブログ、SNS、ウェブサイト等で発信

2. ご旅行代金：無料

- ① **旅行代金に含まれるもの**：大人2名、小人1名分のご自宅から小淵沢駅までの往復電車代（移動手段の手配はご自身でお願いします。インターネット検索の最も経済的な経路での往復電車代を現地に現金で支給いたします。その際に本プロジェクトが用意した領収書にサインをお願いします。）、行程内の現地移動費、宿泊費、プログラム参加費、食事代（朝1回、昼2回、夕1回）及び添乗員同行費用が含まれます。
- ② **旅行代金に含まれないもの**：旅行日程に記載のない交通費等の諸費用及び個人的性格の費用（飲み物代、クリーニング代、電話代等）、傷害、疾病に関する医療費、任意の旅行傷害保険、定員以上の参加費は含まれません。

3. 免責事項：ご参加者が以下の事由により損害を受けられた場合は、当共同事業体は賠償の責任を負いません。

- ① 天災地変・気象条件・暴動又はこれらのために生ずる旅行日程の変更若しくは旅行の中止。
- ② 運送・宿泊機関の事故若しくは火災又はこれらのために生ずる旅行日程の変更若しくは旅行の中止。
- ③ 官公署の命令、又は伝染病による隔離自由行動中の事故、食中毒、盗難、運送機関の遅延・不通又はこれらによって生ずる旅行日程の変更若しくは目的地変更・滞在時間の短縮。
- ④ 新型コロナウィルス感染症感染拡大による旅行日程の変更若しくは中止。

4. 新型コロナウィルス感染症への対応のお願い：別添のガイドラインを熟読のうえ、参加ください。

5. 旅行保険：安心してご旅行していただくため、ご参加者様の自己負担で旅行傷害保険にご加入いただきます。費用は、お1人様300円です。

6. 雨天時の予定：雨天の場合であっても、ツアーは実施いたします。プログラムに多少変更がございますことご了承ください。

7. キャンセルについて：本モニターツアーは、ツアーの様子が分かる動画コンテンツを作成し、発信することを目的としております。想定外のご自身やご同行者様のご病気やケガなどでない限り、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

主催：令和2年度つたえる、感じる、つながる、森林×SDGs プロジェクト共同事業体

連携企業：白州・尾泊の森名水公園べるが、山の水農場、アトリエヨクト

協力：北杜市役所 協賛：サントリー労働組合白州支部

お問い合わせ：hashimoto.takuto@kmcinc.co.jp tel 03-5791-5083

（株式会社かいはつマネジメント・コンサルティング内） 担当：橋本、梅永

※当企画は、林野庁の委託により令和2年度つたえる、感じる、つながる、森林×SDGs プロジェクト共同事業体が実施します。



森林×SDGs 親子で楽しむ森の時間『ワデュケーション』体験モニターツアー

新型コロナウイルス感染予防対策

へのご協力をお願いします

参加する前から注意すること

- ① 普段から体温の測定と記録をしましょう。
- ② こまめな手洗いなどを徹底しましょう。
- ③ マスク、ハンカチ、体温計をご用意ください。
- ④ 発熱や咳などの症状がある場合や、ご家族に感染者や感染の疑いのある方がいらっしゃる場合には、参加をお控えください。



参加中に注意すること（行き、帰りも含む）

- ① 宿泊施設への入退室の際には、入口に設置の消毒液を用いて手指消毒をしてください。また、入口での利用者名簿へのご記入、検温にご協力ください。
37.5℃以上の場合はご入園をお断りしております。
- ② 座談会等開催時の会場の席は対面ではなく横並びにご着席ください。また、参加者同士の間隔を1~2メートル確保してください。
- ③ 宿泊施設内ではマスクを常に着用してください。ただし、熱中症予防対策等で屋外にてマスク等を外す場合は、1~2メートルの距離を確保してください。
- ④ こまめに手洗いを行ってください。手洗い後はタオルの共用や手洗い時のハンドドライヤーの利用を避け、個人のハンカチ等を使用してください。
- ⑤ 筆記用具を使用される際は、各自でご持参されたものをご使用ください。
- ⑥ 室内で近距離での会話、大きな声を出すことや歌うこと、呼気が激しくなるような運動は避けてください。
- ⑦ 食事をする場合は、開始前に手洗い・うがい・手指の消毒をおこなってください。可能な限り向かい合った席を作らないよう配慮し、人と人との間隔を1~2メートル確保してください。
- ⑧ マイクロバス等で活動現場に移動する場合は、窓を開けての換気を行ってください。また、マスクを常に着用してください。
- ⑨ ツアー開催中に、発熱や呼吸困難、けん怠感など、感染の疑われる症状が出た場合、速やかに別室へご移動ください。マスクを常に着用し、外に出ないようにしてください。

参加後に感染が判明したら

- ① 保健所の指示に従うとともに、速やかに主催者に連絡して下さい。

主催：令和2年度つたえる、感じる、つながる、森林×SDGs プロジェクト共同事業体

お問い合わせ：hashimoto.takuto@kmcinc.co.jp

橋本（主担当）：090-3432-8529

梅永（副担当）：080-9580-8567（株式会社かいはつマネジメント・コンサルティング内）

広報媒体および SNS における肖像権使用承諾書について

令和 2 年 10 月 21 日

令和 2 年度つたえる、感じる、つながる、森林×SDGs プロジェクト事業共同事業体

(株) かいはつマネジメント・コンサルティング

(一社) 森と未来

2020 年 10 月 30 日（金）～10 月 31 日（土）、山梨県北杜市にて行われる、森林×SDGs 親子で楽しむ森の時間『ワデュケーション』体験モニターツアーにおいて、モニターツアー運営スタッフが、写真および動画の撮影を行います。また、ツアー参加中には、子どもの様子を撮影いただき、動画素材の提供にご協力いただきます。

つきましては、下記を十分お読み頂き、肖像権使用のご承諾をいただけますようお願いいたします。

記

1. 主な使用目的

- ・ 本事業共同体が運営するソーシャルメディア公式アカウント上での、「森林×SDGs 親子で楽しむ森の時間『ワデュケーション』体験モニターツアー」に関する投稿等における使用
- ・ 本事業を広報するための出版物（ウェブサイト、雑誌等）への掲載（印刷物および電子データ）
- ・ 林野庁の出版物（広報誌・年次報告書・機関誌等）への掲載（印刷物および電子データ）
- ・ 内部・外部向けの報告書への掲載（印刷物および電子データ）

なお、上記ソーシャルメディア公式アカウントにおける各使用に際しては、各ソーシャルメディア運営会社の利用規約等に従うものとします。

2. 使用時期

令和 2 年度つたえる、感じる、つながる、森林×SDGs プロジェクト事業の PR・広報のために使用するため、必要に応じて使用させて頂く予定です。

3. その他

撮影した写真及び動画を営利目的で使用することはありません。

以上

肖像権使用承諾書

私 (氏名) は、本モニターツアー参加時で撮影した私の肖像が含まれる写真および動画を、令和 2 年度つたえる、感じる、つながる、森林×SDGs プロジェクト事業共同事業体が上記目的で使用・公開することを承諾し下記に署名します。肖像権使用に係る対価は求めません。また、私は、私の肖像が含まれる写真および動画を、本共同事業体ソーシャルメディア公式アカウントにおいて本事業共同体が使用するに際しては、各ソーシャルメディア運営会社の利用規約等に従うことを了承します。

なお、子どもが未成年者のため、親権者として上記に定める条件に代理として同意します。

年月日 年 月 日

住所 _____

連絡先（e-mail／TEL／FAX） _____

氏名（署名） _____

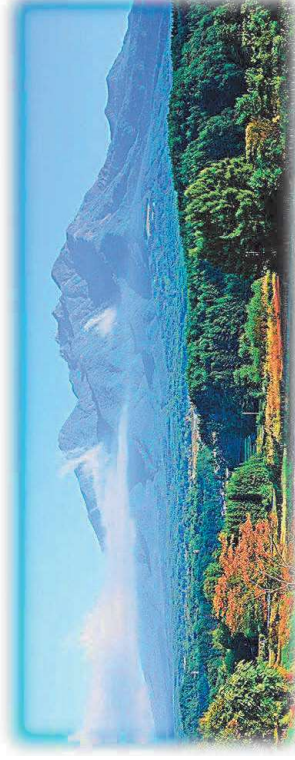
※提出された個人情報は、一定期間「令和 2 年度つたえる、感じる、つながる、森林×SDGs プロジェクト事業共同事業体」にて保管されます。

※本書における個人情報が、本人の承諾なしに第三者に対し開示されることはございません。

森林×SDGs 親子で楽しむ森の時間 『ワデュケーション』体験モニターツアー

旅のしおり

2020年10月30（金）～31日（土）



主催：令和2年度つたえる、感じる、つみかえる、森林×SDGs プロジェクト共同事業体
協力：北は市

目次

1. 旅の目的
2. 旅のスケジュール
3. 訪ねる土地のこと
4. 旅の仲間と訪問先の方々
5. 宿泊場所
6. 持ち物・緊急連絡先



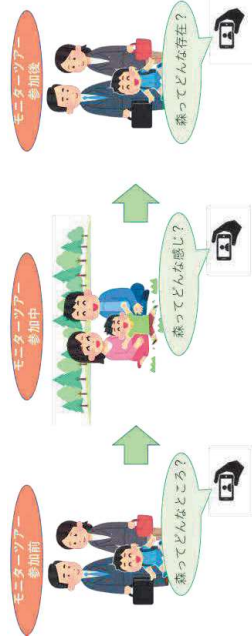
1. 旅の目的

＜旅の目的＞

本モニターツアーは、森林の新たな楽しみ方や過ごし方を発信することを目的とする**取材企画**です。ツアーの様子が分かる**動画コンテンツ**を作成し、発信します。

ツアー参加中には、インタビュー、スタッフによる撮影へのご協力、および子どもの様子をスマートフォン等で撮影いただきます。インタビューでは、ツアーに参加してみての感想や、今後の仕事や生活において森林どのようなに関わっていきたいか等伺いたしますので、是非、率直なご意見・ご感想をお聞かせくださいませ。

イメージ：



スマートフォンを使った動画撮影のコツと注意点については、以下QRコード先のYoutube動画をご覧ください。

- ・ **iPhoneで上手に動画を撮影する方法（5分程度）：**

※動画を編集いただく必要はありません。



＜お願い＞

スマートフォンなどで撮影された動画データ（素材）は、後日ご共有いただきます。右記QRコードのリンク先にアクセスの上、動画ファイルをアップロードしてください。



2. 旅のスケジュール

1日目（10月30日（金））

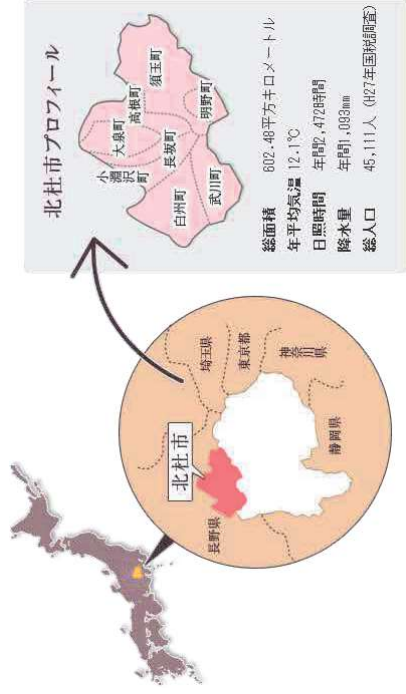
時間	内容	場所
10:05	8:00新宿発-あずさ5号-9:53小淵沢着 小淵沢駅改札を出て、 階段を降りたところ でお待ちしております。	小淵沢駅
10:10	小淵沢駅からべるがへ送迎車で移動	移動
10:30	オープニング・オリエンテーション	
11:00	謎解きフォト探し	
12:00	昼食（お弁当）	
13:00	森林浴体験	
14:30	子供：サクッと工作 大人：テレワーク体験	白州・尾白の森名水公園「べるが」
16:30	温泉	
18:00	夕食	
20:00	森×テレワークの座談会	

2日目（10月31日（土））

7:15	朝のプログラム	白州・尾白の森名水公園「べるが」
7:45	朝食	
9:00	荷造り	
9:30	チェックアウト・移動	移動
10:00	きのご農家さん訪問～収穫体験＋昼食作り～	白州・山の農場
12:00	昼食 ～きのこ汁・新米ご飯～	
12:30	移動	移動
13:00	クラフトワーク体験/インタビュー	アトリエヨクト
14:45	移動	移動
15:00	道の駅はくしゅう立ち寄り	道の駅はくしゅう
16:00	小淵沢駅着 16:10 解散	小淵沢駅

3.訪ねる土地のこと

山梨県北杜市



北杜市は、日本百名山にも選ばれた日本を代表するアルペンスポットの八ヶ岳や南アルプスを代表する甲斐駒ヶ岳、金峰山、瑞牆山などの山々に囲まれ、南には世界文化遺産に登録された雄大な富士山を望むことができる日本有数の美しい山岳景観を有しています。



4.旅の仲間と訪問先の方々



橋本卓道

メインの進行役を務めます！
9ヶ月の娘を持つ父。



梅永優衣

皆様のお迎えなど、
ご参加者様の対応を
担当いたします。



小野なぎさ

森林浴のご案内をいたします。
2日間ツアーの様子を撮影をさせていただきます！



白州・山の水農場

<https://www.yamanomizu.com/>

水谷 みえこさん、多呂 (たろ) さん
きのこの収穫体験・昼食づくりにご協力
いただきます。



アトリエヨクト

<https://www.a-yocto.jp/>

古川 潤さん、佐藤 柚香さん
スパイスボトルのワークショップにご
協力いただきます。

5. 宿泊場所

名前：山梨県 白州・尾白の森名水公園「べるが」

住所：〒408-0315 山梨県北杜市白州町白須8056

電話番号：0551-35-4411

* 宿泊は、家族ごと宿泊棟に泊まります。

＜お部屋の一例＞

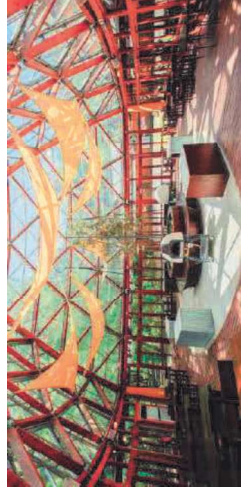


＜アメニティについて＞

×	ハンドタオル	○	ホディソープ	×	ドライヤー
×	歯ブラシ・歯磨き粉	○	石けん	×	羽毛布団
×	バスタオル	×	浴衣	×	髪剃り
○	シャンプー	×	ハンジャマ	×	シャワーキャップ
○	リンス	×	バスローブ	×	くし、ブラシ

＜テレワーク会場＞

レストランの隣に位置するホールではインターネットが繋がるため、テレワークを体験していただけます。



6. 持ち物・緊急連絡先

＜持ち物＞

- ・ **アメニティ**：バスタオル、フェイスタオル、歯ブラシセットやパジャマは宿泊施設にございますので、ご持参ください。
- ・ **撮影道具**：撮影のためのスマートフォン、あるいはハンディカメラや三脚などをお持ちの方はご持参ください。
- ・ **雨具**：山の天候は変わりやすいので、カッパ・傘をご持参ください。
- ・ **その他**：レジャーシート、虫除けスプレー、マスク、水筒、常備薬、保険証、テレワーク用のパソコン、充電器、体温計など。

＜服装＞

- ・ 汚れても構わない、動きやすい服装でお越しください。
- ・ 北杜市は都心よりも気温が低く、特に森の中は冷え込む場合がありますので、1枚多めに着込んでお越しください。
- ・ 履きなれたトレッキングシューズ、スニーカー等でお越しください。

＜注意事項など＞

- ・ べるがでは、感染症拡大防止に向けた取り組みを行っています。別添「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」をご参照のうえ、入口での利用者名簿へのご記入、および検温にご協力ください。
(37.5℃以上の場合は利用不可)
- ・ ペット類。悪臭を発する物、その他法律で禁じられている物を持ち込まないでください。
- ・ 宿泊棟は火気厳禁となりますので、バーベキュー、焚き火等ではできません。

＜緊急連絡先＞

橋本（主担当）：090-3432-8529

梅永（副担当）：080-9580-8567



別添 16

ビジネスパーソン向けツアーのプレスリリース

【林野庁事業】森林空間を活用したポスト・コロナ時代の新しい働き方・ライフスタイルを探索するモニターツアーを実施 企業経営者、働き方改革先進企業の経営幹部、企業家などが参加

株式会社かいはつマネジメント・コンサルティング

2020年11月19日 09時00分

349 いいね！ シェア	ツイート	はてな	素材DL	・・・ その他
--------------------	------	-----	------	------------

株式会社かいはつマネジメント・コンサルティング（本社：東京都渋谷区、代表取締役：岡部寛）と一般社団法人森と未来（本社：東京都世田谷区、代表：小野なぎさ）は、林野庁の委託事業「令和2年度 つたえる、感じる、つながる、森林×SDGs プロジェクト事業」の一環で、11月24日（火）～11月25日（水）に、東京都奥多摩町で、「森林×SDGs ポスト・コロナ時代のNew Standard探索モニターツアー」を実施します。



日本一巨樹が多い町であり、また、日本水源の森百選にも選ばれている奥多摩町（写真提供：おくたま地域振興財団）

森と人が共生する持続可能な未来の実現

持続的な開発目標（SDGs）に貢献する取組が重視される中で、SDGsの達成に向けた森林の役割に関心が集まっています。森林は、水資源の確保、気候変動の緩和、山地災害の防止などの「環境」保全のほか、森林・林業分野における雇用創出などを通じた「経済」の活性化、及び健康増進による人の生活の質（QOL）向上など「社会」へも貢献します。

参考：森林×SDGs（https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/genjo_kadai/SDGs_shinrin.html）

林野庁は、森林の持つ多面的機能を持続的に発揮させ、循環型資源である木材を将来にわたって供給するため、SDGsの様々な目標に関わる施策を実行しています。「令和2年度 つたえる、感じる、つながる、森林×SDGsプロジェクト」は、森林の新たな価値を伝え、人と森林の繋がりを強めることにより、森林と人それぞれにとって持続可能な未来を実現したいという思いから始動しました。

林野庁森林利用課山村振興・緑化推進室長 木下 仁からのメッセージ

忙しい毎日の中で森を訪れたり、便利な暮らしの中で木をつかったりすることは、少し面倒と感じるかもしれませんが、でも、その少しの手間や時間の大切さに気づき、私たちの暮らしが、森や木と関わったら、もっと幸せで心地いい暮らしに出会えるのではないかと。そんな気づきを感じ、それを多くの人に伝え、森や木と人とつながるきっかけを作りたいという想いを込めて、このプロジェクトに取り組んでいます。

このツアーに参加された方の中に、小さな気づきが芽生え、それが人に伝わり、さらに多くの人が森や木とつながることを期待しています。

株式会社かいはつマネジメント・コンサルティング

フォロー

フォローすると...

フォロワー(0)

URL	http://www.kmcinc.co.jp,
業種	サービス業
本社所在地	東京都渋谷区恵比寿 1 - 3 - 朝日生命恵比寿ビル 10階
電話番号	03-5791-5083
代表者名	岡部 寛
上場	未上場
資本金	6000万円

検索

キーワードで検索

関連プレスリリース

銘匠光学 TTArtisan 35mm f/1.4 C 単焦点レンズ L (バネット)マウント発売
株式会社焦点工房
2時間前

【本が好き！】「本とトートでつながる」プロジェクト 第1弾、太田市美術館・株式会社スーパーブランニング
3時間前

NECレッドロケット【Vリーグ/バレー】に「首掛け型 空気清浄機」を無償提供
日本電気株式会社
3時間前

さとふると福井県越前町、コロナ禍で活動継続が危ぶまれる越前焼窯元を支援するた...
株式会社さとふる
3時間前

【愛知県観光誘客地域活動事業】常滑市の地域PR動画「泣きたいのに泣けない私」が...
愛知県
3時間前

プレスリリース ランキング



森での休息の様子（写真提供：おくたま地域振興財団）

森林空間を活用することによる価値・可能性を探索

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、テレワークを導入する企業が増えたことにより、働き方の選択肢が広がりました。リゾート地などで余暇（vacation）を楽しみながら仕事（work）をする「ワーケーション」に注目が集まる一方、在宅やサテライトオフィスでのテレワークを前提に地方への移住を希望する人も増えています。森林環境が、ストレス緩和や免疫力向上など、健康の増進に効果があることは科学的に実証されてきており、森の中のテレワークなどを通じて、人にやさしい働き方につながる可能性を秘めています。

本モニターツアーでは、企業経営者、働き方改革先進企業の経営幹部、起業家などの5名の参加者が、ツアープログラムの体験や参加者同士の対話を通じて、ポスト・コロナ時代の人と森との関係性、働き方・ライフスタイルを探索します。森の中で焚き火を囲んで行う対話セッションでは、多種多様なバックグラウンドを持つ参加者が、自身のビジネスの視点から、今後の森林空間活用の可能性について語り合います。

働く場所や時間を社員が自由に選べる人事制度「WAA（Work from Anywhere and Anytime）」やワーケーションを推進するユニリーバ・ジャパン・ホールディングス株式会社の島田由香氏は、企業が森林空間を活用することによるベネフィットについて、次のようにコメントしています。



「2020年コロナウイルスによる影響は私たちの働き方を大きく変えました。リモートや在宅勤務がメインとなったことだけでなく、健康や幸せをどう保つのかという点についても私たちの意識に大きな変化がありました。今後企業には、ワーケーション等の働く場所や時間の柔軟性の高いしくみを提供していくことが、そして働く私たちは1人ひとりが自分のウェルビーイングを高めていくことが求められます。そこに森林は大きな可能性を持っていると考えています。森林の持つ効果が社員にもたらす好影響は確実にビジネスにもつながります。今回のモニターツアーで多様な業界の専門家の方と森林空間で一緒に過ごさせていただくことで、どんなアイデアやコラボレーションが生まれるのかをとても楽しみにしています。」

モニターツアーの概要

- ツアー：森林×SDGs ポスト・コロナ時代のNew Standard探索モニターツアー
 - 期間：2020年11月24日（火）～2020年11月25日（水）1泊2日
 - 場所：東京都奥多摩町
 - プログラム：
- 1日目 奥多摩駅待ち合わせ→登計トレイルに移動→オープニングセッション→森林セラピー→昼食→東京・森と市庭に移動…製材所見学、取組事例紹介、ディスカッション→Circus Outdoor Tokyoへ移動…チェックイン→焚火を囲んだ対話セッション
- 2日目 朝の散歩→朝食・チェックアウト→Okutama+へ移動…施設見学、テレワーク体験→山鳩喫茶に移動…昼食→クロージングセッション→奥多摩駅解散

いま話題	今日	今週
	【Ground Y 2021 Spring / Summer Collection】 - Disney・Pixar「Toy Story」株式会社ヨウジヤマモト	
	待望のコラボ第三弾！ オン・インクレーンゲーム「MOLLY.ONLINE」限定でカバー株式会社	
	スペシャルプログラム「バイオハザード・ショーケース」を2021年1月22日（金）放株式会社カブコン	
	日本円デジタルコイン運営の日本暗号資産市場が4,000万円の資金調達を実施日本暗号資産市場株式会社	
	元ZOZO執行役員の田端信太郎氏がMOSHのマーケティング戦略顧問に就任。MOSH株式会社	
	【永らくのご愛顧ありがとうございました】緊急事態宣言再発出にともない、東京都株式会社モンテローザ	
	みんな大好き！！しゃぶしゃぶ食べ放題の「しゃぶ食べ、3店舗で“もつ鍋と牛肉・三株式会社モンテローザ	
	緊急事態宣言！東京都足立区に寄贈！365回洗っても抗塵力を維持する【日本製】…宏福商事合同会社	
	【蔦屋書店】吉川晃司写真集『STAND UP KIKKAWA KC FILMOGRAPHY by 14…株式会社 蔦屋書店	
	楽天、川口市に「新型コロナウイルス唾液PCR検査キット」を提供楽天株式会社	

Facebookで人気のプレスリリ

ハウスコム、FC浜松駅前店を移転！ JR浜松駅により近い路面店にてリフ…ハウスコム株式会社
シングルマザーや母子家庭、ひとり親家庭の皆さまを応援！ 【WakeAi …株式会社WakeAi
食のDXを推進する「グッドイートカンパニー」が始動。～ 日本の食を愛…株式会社グッドイートカンパニ



香りの道「登計トレイル」。日本初の森林セラピー専用ロードです。（写真提供：おくたま地域振興財団）

■参加者（敬称略）

島田由香

ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス株式会社

（<https://www.unilever.co.jp/>）取締役 人事総務本部長

働く場所や時間を社員が自由に選べる人事制度「WAA（Work from Anywhere and Anytime）」やワーケーションを推進する。日本の人事部「HRアワード2016」個人の部・最優秀賞、「国際女性デー | HAPPY WOMAN AWARD 2019 for SDGs」受賞。林野庁「森林サービス産業」検討委員。



西村勇哉

NPO法人ミラツク（<http://emerging-future.org/>）代表理事

セクター、職種、領域を超えたイノベーションプラットフォームの構築と、年間30社程度の大手企業の事業創出支援、研究開発プロジェクト立ち上げの支援、未来構想の設計、未来潮流の探索などに取り組む。

国立研究開発法人理化学研究所未来戦略室 イノベーションデザイナー／
大阪大学社会ソリューションイニシアティブ 特任准教授



本間貴裕

株式会社SANU（<https://sa-nu.com/>）創設者/ブランドディレクター

2010年、「あらゆる境界線を越えて、人々が集える場所を」を理念に掲げ、ゲストハウス・ホステルを運営するBackpackers' Japanを創業。2019年には、自然と共にある生活“Live with Nature.”を提案するライフスタイルブランド「SANU」を設立。第一弾のサービスとして、自然の中に、もう一つの家があるライフスタイルを、月額5万円から提供する「SANU 2nd Home（サヌ・セカンドホーム）」を2021年春に開始する。



関龍彦

講談社（<https://www.kodansha.co.jp/>）FRaU編集長 兼 プロデューサー

「VOICE」「FRaU」の編集長を経て、現在は「FRaU」編集長 兼 プロデューサー。2018年12月、女性誌としてはおそらく世界初となる「1冊丸ごとSDGs特集」のFRaUを刊行。その後3冊のSDGs号を制作する傍ら、読者会員らとの共創会議（<https://gendai.ismedia.jp/articles/-/72294?media=frau>）をはじめ、省庁・企業・自治体主催のSDGs関連イベント、メディアにも多数出演。



中香織

株式会社ダンクソフト（<https://www.dunksoft.com>）企画チーム ダイバーシティ推進マネージャー

「デジタルで人を幸せに」を掲げるIT企業、ダンクソフトで初めて育児休業を取得し、実体験をもとに、社内の規定類の整備や申請方法の見直し等、社員が働きやすい環境整備に取り組んでいる。テレワークとワークライフバランスの先進企業として受賞多数。



■連携企業：

一般財団法人おくたま地域振興財団 (<https://www.okutama-therapy.com/okutamazaidan.php>)

自然豊かな奥多摩町の森林を活用した活動及び森林環境の保全などを通じて、広く人々の健康維持・増進、並びに教育、交流、山村地域の振興に寄与する。「森林セラピー事業」を中心としたストレス解消や健康増進の場の提供や、奥多摩町の観光PR事業を行い、人々の健康増進及び地域振興事業等を展開している。



Okutama+ (<https://okutamaplus.com/>)

廃校となってしまった旧古里中学校を拠点とし、創造的な活動を応援するコミュニティスペース。若者の都会流出や出生減の影響により、過去30年間で居住人口が約半減している奥多摩町において、出会いの創出や創造的な活動を行うことで、地域の活性化を目指す。コワーキングスペースの他、宿泊施設、撮影地としても利用できる。



Circus Outdoor TOKYO (<http://circusoutdoor.com/>)

東京の森の奥深くにあるアウトドアフィールド。東京とは思えぬ程の大自然が残る奥多摩で、室内と大自然を隔てるのはたった一枚の布から出来たテント。テント内は、それぞれのコンセプトを元に設えられた個性的なお部屋で非日常体験を楽しめる。

テント協力：株式会社ロゴスコーポレーション (<http://www.logos-co.com>)



東京・森と市庭 (<https://mori2ichiba.tokyo.jp/>)

東京の森で育ったスギ・ヒノキを活かし、木育商品および木育遠足などの体験を提供する企業。子どもたちが、リアルな木製品や自然に触れることで五感を開き、様々なことを感じとる環境づくりを目指す。



- 本モニターツアーは森林の新たな楽しみ方や過ごし方を発信することを目的とする取材企画です。メディアの方々による取材を歓迎しております。
- 11月24日（火）、11月25日（水）に、モニターツアー実施スタッフ、林野庁職員、参加者5名、および地域の協力者に、直接取材が可能です。

< 参考情報 >

株式会社かいはつマネジメント・コンサルティング（KMC） (<http://www.kmcinc.co.jp/>)

地域や人々間の格差の縮小、雇用の創出、事業機会の拡大、地球温暖化対策、伝統文化の保護といった社会課題の解決を専門とするコンサルティング会社。国際協力機構（JICA）などが実施する政府開発援助（ODA）事業、国内省庁や自治体の地域振興、企業の海外へのビジネス進出にかかる各種コンサルティングサービスを提供する。日本のみならず、アジア、アフリカ、中東、中南米など世界70か国以上での業務実績を有する。持続的な開発を目標とするSDGs支援について豊富な知見と経験、SDGs達成のための取組に遍く精通している。

一般社団法人森と未来 (<https://www.fwithf.org/>)

都会に暮らす人々を地域の森につなぐ各種のサービスを提供する森林空間サービスの専門企業。代表の小野なぎさは、認定産業カウンセラー、森林セラピストの資格を有し、日本国内および中国北京市において、アドバイザー、研修講師、講演などの豊富な業務実績を誇る。2019年に森林浴を活用した健康対策、人材育成、地域支援に関する書籍『あたらしい森林浴』（学芸出版社）を出版した。

林野庁 令和2年度 つたえる、感じる、つながる、森林×SDGsプロジェクト

林野庁 森林利用課 山村振興・緑化推進室により受託し、株式会社かいはつマネジメント・コンサルティングと一般社団法人森と未来が共同事業体として実施している事業。

①森林空間を活用した自然保育や学校教育、企業研修等、様々な「教育」にかかる現状、ニーズ、課題を調査し、今後の森林環境教育の推進に向けた新たな方向性を検討すること、②これまで森林と関わりの少なかった都市住民や未来の社会の中核を担う中学生・高校生に対して、前者に対し森林の新たな楽しみ方を提案したり、後者とは未来予想図を作成する事業を実施、対外的に発信したりすることにより、森林に対する理解・関心を高めることを目的としている。

（参考：森林空間を活用した教育イノベーション検討委員会）
https://www.rinya.maff.go.jp/j/sanson/kan_kyouiku/main5.html

🕒 このプレスリリースには、メディア関係者向けの情報があります。

メディアユーザー新規登録
無料

メディアユーザーログイン
既に登録済みの方はこちら

メディアユーザー登録を行うと、企業担当者の連絡先や、イベント・記者会見の情報など様々な特記情報を閲覧できます。
※内容はプレスリリースにより異なります。

[プレスリリース](#) > [株式会社かいはつマネジメント・コンサルティング](#) > 【林野庁事業】森林空間を活用したポスト・コロナ時代の新しい働き方・ライフスタイルを探索するモニターツアーを実施 企業経営者、働き方改革先進企業の経営幹部、企業家などが参加

種類 イベント

ビジネスカテゴリ 政治・官公庁・地方自治体 自然・天気

キーワード 企業家 森林 森 リモートワーク 森林セラピー 持続可能な開発目標 働き方改革 ワークেশン
ポストコロナ 林野

プレスリリース素材ダウンロード

このプレスリリース内で使われている画像ファイルがダウンロードできます。

プレスリリース画像一覧



別添 17

ビジネスパーソン向けツアーの配布資
料一式

森林×SDGs ポスト・コロナ時代のNew Standard 探求モニターツアー 参加のご案内

令和2年11月19日(木)

令和2年度つたえる、感じる、つながる、森林×SDGs プロジェクト共同事業体

この度は、林野庁「令和2年度 つたえる、感じる、つながる、森林×SDGsプロジェクト事業」で実施いたします「森林×SDGs ポスト・コロナ時代のNew Standard 探求モニターツアー」にご参加くださり、誠にありがとうございます。つきましては、ツアーご参加にあたり必要な情報を以下の通りご案内申し上げます。

1. モニターツアーの目的

本モニターツアーは、ツアープログラムの体験や参加者同士の対話を通じて、これからの働き方やライフスタイル、ビジネスのあり方に対して森林空間が提供しうる価値・可能性について探求し、発信することを目的とした取材企画です。参加者はビジネスパーソン5名を想定しており、森林空間を活用した働き方の場づくりや仕組みづくりに親和性の高いビジネスをされている方々になります。ツアー内容をSNS・ウェブサイト、雑誌等の媒体に掲載させていただきます。参加者の皆様にも、是非ツアーを通じて感じたこと、気づいたことなどについて発信をお願いいたします。

2. ご旅行代金：無料

- ① **旅行代金に含まれるもの**：ご自宅から奥多摩駅までの往復電車代（移動手段の手配はご自身でお願いします。インターネット検索の最も経済的な経路での往復電車代を現地にて現金で支給いたします。その際に本プロジェクトが用意した領収書にサインをお願いします。）、行程内の現地移動費、宿泊費、プログラム参加費、食事代（朝1回、昼2回、夕1回）及び添乗員同行費用が含まれます。
- ② **旅行代金に含まれないもの**：旅行日程に記載のない交通費等の諸費用及び個人的性格の費用（飲み物代、クリーニング代、電話代等）、傷害、疾病に関する医療費、任意の旅行傷害保険、定員以上の参加費は含まれません。

3. 免責事項：ご参加者が以下の事由により損害を受けられた場合は、当共同事業体は賠償の責任を負いません。

- ① 天災地変・気象条件・暴動又はこれらのために生ずる旅行日程の変更若しくは旅行の中止。
- ② 運送・宿泊機関の事故若しくは火災又はこれらのために生ずる旅行日程の変更若しくは旅行の中止。
- ③ 官公署の命令、又は伝染病による隔離自由行動中の事故、食中毒、盗難、運送機関の遅延・不通又はこれらによって生ずる旅行日程の変更若しくは目的地変更・滞在時間の短縮。
- ④ 新型コロナウイルス感染症感染拡大による旅行日程の変更若しくは中止。

4. 新型コロナウイルス感染症への対応のお願い：別添のガイドラインを熟読のうえ、参加ください。

5. 旅行保険：

安心してご旅行していただくため、ご参加者様の自己負担で旅行傷害保険にご加入いただきます。ご自宅の最寄り駅から奥多摩駅までの最も経済的・効率的な移動にかかる交通費（往復）から、**保険料479円を引いた金額をお渡しいたします。**

6. 雨天時の予定：雨天の場合であっても、ツアーは実施いたします。プログラムに多少変更がございますことご了承ください。

7. モニターツアーの参加にあたって：参加者の皆様には、24日（火）10時15分に奥多摩駅集合～25日（水）15時頃に奥多摩駅解散の間、基本的にはすべてのプログラムに参加くださいますようお願いいたします。

企画・実施

主催：令和2年度つたえる、感じる、つながる、森林×SDGs プロジェクト共同事業体

お問い合わせ：hashimoto.takuto@kmcinc.co.jp

tel 03-5791-5083（株式会社かいほつマネジメント・コンサルティング内） 担当：橋本、梅永

当企画は、林野庁の委託により令和2年度つたえる、感じる、つながる、森林×SDGs プロジェクト共同事業体が実施します。

新型コロナウイルス感染予防対策 へのご協力を お願いします

参加する前から注意すること

- ① 普段から体温の測定と記録をしましょう。
- ② こまめな手洗いなどを徹底しましょう。
- ③ マスク、ハンカチ、体温計をご用意ください。
- ④ 発熱や咳などの症状がある場合や、ご家族に感染者や感染の疑いのある方がいらっしゃる場合には、参加をお控えください。

参加中に注意すること（行き、帰りも含む）

- ① 宿泊施設への入退室の際には、入口に設置の消毒液を用いて手指消毒をしてください。また、入口での利用者名簿へのご記入、検温にご協力ください。
37.5℃以上の場合にはご入園をお断りしております。
- ② 座談会等開催時の会場の席は対面ではなく横並びにご着席ください。また、参加者同士の間隔を1~2メートル確保してください。
- ③ 宿泊施設内ではマスクを常に着用してください。ただし、熱中症予防対策等で屋外にてマスク等を外す場合は、1~2メートルの距離を確保してください。
- ④ こまめに手洗いを行ってください。手洗い後はタオルの共用や手洗い時のハンドドライヤーの利用を避け、個人のハンカチ等を使用してください。
- ⑤ 筆記用具を使用される際は、各自でご持参されたものをご使用ください。
- ⑥ 室内で近距離での会話、大きな声を出すことや歌うこと、呼気が激しくなるような運動は避けてください。
- ⑦ 食事をする場合は、開始前に手洗い・うがい・手指の消毒をおこなってください。
- ⑧ マイクロバス等で活動現場に移動する場合は、窓を開けての換気を行ってください。また、マスクを常に着用してください。
- ⑨ ツアー開催中に、発熱や呼吸困難、けん怠感など、感染の疑われる症状が出た場合、速やかに別室へご移動ください。マスクを常に着用し、外に出ないようにしてください。

参加後に感染が判明したら

- ① 保健所の指示に従うとともに、速やかに主催者に連絡して下さい。

主催：令和2年度つたえる、感じる、つながる、森林×SDGs プロジェクト共同事業体

お問い合わせ：hashimoto.takuto@kmcinc.co.jp

橋本（主担当）：090-3432-8529

梅永（副担当）：080-9580-8567（株式会社かいはつマネジメント・コンサルティング内）

広報媒体および SNS における肖像権使用承諾書について

令和 2 年 11 月 19 日

令和 2 年度つたえる、感じる、つながる、森林×SDGs プロジェクト事業共同事業体

(株) かいはつマネジメント・コンサルティング

(一社) 森と未来

2020 年 11 月 24 日（火）～11 月 25 日（水）、東京都奥多摩町にて行われる、森林×SDGs ポスト・コロナ時代の New Standard 探求ツアーにおいて、取材チームと運営スタッフが、写真および動画の撮影を行います。

つきましては、下記を十分お読み頂き、肖像権使用のご承諾をいただけますようお願いいたします。

記

1. 主な使用目的

- ・ 本事業共同体が運営するソーシャルメディア公式アカウント上での、「森林×SDGs ポスト・コロナ時代の New Standard 探求ツアー」に関する投稿等における使用
- ・ 本事業を広報するための出版物（ウェブサイト、雑誌等）への掲載（印刷物および電子データ）
- ・ 林野庁の出版物（広報誌・年次報告書・機関誌等）への掲載（印刷物および電子データ）
- ・ 内部・外部向けの報告書への掲載（印刷物および電子データ）

なお、上記ソーシャルメディア公式アカウントにおける各使用に際しては、各ソーシャルメディア運営会社の利用規約等に従うものとします。

2. 使用時期

令和 2 年度つたえる、感じる、つながる、森林×SDGs プロジェクト事業の PR・広報のために使用するため、必要に応じて使用させて頂く予定です。

3. その他

撮影した写真及び動画を営利目的で使用することはありません。

以上

肖像権使用承諾書

私 (氏名) は、本モニターツアー参加時で撮影した私の肖像が含まれる写真および動画を、令和 2 年度つたえる、感じる、つながる、森林×SDGs プロジェクト事業共同事業体が上記目的で使用・公開することを承諾し下記に署名します。肖像権使用に係る対価は求めません。また、私は、私の肖像が含まれる写真および動画を、本共同事業体ソーシャルメディア公式アカウントにおいて本事業共同体が使用するに際しては、各ソーシャルメディア運営会社の利用規約等に従うことを了承します。

年月日 年 月 日

住所 _____

連絡先（e-mail/TEL/FAX） _____

氏名（署名）

※提出された個人情報は、一定期間「令和 2 年度つたえる、感じる、つながる、森林×SDGs プロジェクト事業共同事業体」にて保管されます。

※本書における個人情報が、本人の承諾なしに第三者に対し開示されることはありません。

森林×SDGs ポスト・コロナ時代のNew
Standard 探求モニターツアー—
旅のしおり

2020年11月24日(火)～25日(水)



主催：令和2年度つたえる、感じる、つながる 森林×SDGs プロジェクト共同事業体

目次

- 1.本モニターツアーの目的
- 2.スタッフのご紹介・緊急連絡先
- 3.参加者のご紹介
- 4.スケジュール
- 5.訪ねる土地のこと
- 6.宿泊施設・お持ち物について
- 7.協力団体のご紹介

1.本モニターツアーの目的

＜旅の目的＞

「令和2年度 つたえる、感じる、つながる、森林xSDGsプロジェクト」は、森林の新たな価値を伝え、人と森林の繋がりを強めることにより、森林と人それぞれにとって持続可能な未来を実現したいという思いから始動しました。本モニターツアーは、ツアープログラムの体験や参加者同士の対話を通じて、**これからの働き方やライフスタイル、ビジネスのあり方に対して森林空間が提供しうる価値・可能性について探求し、発信すること**を目的とした取材企画です。

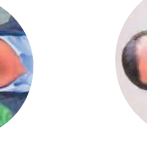
ツアー当日には、取材チームより、皆様がプログラムにご参加いただいている様子を撮影させていただきます。ツアーに参加してみての感想など、お伺いすることもあるかと存じますが、是非、**率直なご意見・ご感想**をお聞かせください。

2.スタッフのご紹介・緊急連絡先



橋本卓道

株式会社かいはつマネジメント・コンサルティング所属
メインの進行役を務めます！



小野なごさ

一般社団法人森と未来代表
(<https://www.fwithf.org/>)
各プログラムの実施をサポートします。



マンジヨット・ペディ

just on time代表取締役社長 (<https://jots.jp/>)
焚火を囲んだ対話セッションの撮影、及び本モニターツアーの広報を担当します。



梅永優衣

株式会社かいはつマネジメント・コンサルティング所属
サブの進行役を務めます。



＜緊急連絡先＞

橋本（主担当） 090-3432-8529 梅永（副担当） 080-9580-8567

3.参加者のご紹介

氏名・役職		プロフィール
ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス株式会社 取締役 人事総務本部長 しまだ ゆか		働く場所や時間を社員が自由に選べる人事制度「WAA (Work from Anywhere and Anytime)」やワーケーションを推進する。林野庁森林サービス産業検討委員。 参考URL： https://happywomanonline/academy/interview/yuka_shimada/
NPO法人ミラツク 代表理事 にしむら ゆうや 西村 勇哉 様		未来の可能性を実現するためのセクター、職種、領域を超えたイノベーション創出に取り組む。10年に渡り100%リモートで働く組織を運営する。 参考URL： http://emerging-future.org/
株式会社SANU 創設者/ブランドディレクター ほんま たかひろ 本間 貴裕 様		自然と共にある生活“Live with Nature”を提案するライフスタイルブランド「SANU」を展開。都市住民向けにセカンドハウスのサブスクリプション型事業を行う。 参考URL： https://prtimes.jp/main/html/rd/p/0000000002_000060549.html
講談社FRaU編集長 兼 プロデューサー せきたつひこ 関 龍彦 様		2018年に女性誌としてはおそらく世界初となる「1冊まるごとSDGs特集」の雑誌を刊行。メディアの「伝える力」を通じたSDGs推進に取り組んでいる。参考URL： https://miraimedia.asahi.com/frau/?fbclid=IwAR2IGWgeu-uOC_Q0IRB9D6B9K259VBvXfMZFvgrTMMOV-A5sX8ZnnSUuQ
株式会社ダンクンソフト 企画チーム ダイバーシティ推進マネージャー なか かおり 中 香織 様		「デジタルで人を幸せに」を掲げるIT企業、ダンクンソフトで初めて育児休業を取得し、実体験をもとに、社内の規定類の整備や申請方法の見直し等、社員が働きやすい環境整備に取り組んでいる。 参考URL： https://www.dunksoft.com/

4.スケジュール

1日目 (11月24日 (火))

時間	内容	場所
10:15	JR奥多摩駅集合。ハイエースで登計 (とけ) トレイルへ移動。	JR奥多摩駅
10:30	オープニングセッション	登計 (とけ) トレイル
11:10	森林セラピー (途中森の中でセラピー弁当)	
14:30	東京・森と市庭 (もりといちば) へ移動	
15:00	製材所見学、取組事例紹介、ディスカッション	東京・森と市庭 (いちば)
16:30	Circus Outdoor TOKYOへ移動	
17:00	Circus Outdoor TOKYO着、チェックイン	Circus Outdoor TOKYO
17:30	夕食	
19:30	焚火を囲んだ対話セッション	
21:00	入浴・フリー	

2日目 (11月25日 (水))

7:15	朝の散歩	Circus Outdoor TOKYO
8:00	朝食	
9:00	チェックアウト、Okutama+へ移動	
10:00	Okutama+施設見学、テレワーク体験	Okutama+
11:45	山鳩喫茶に移動	
12:00	昼食	山鳩喫茶
12:45	福祉会館へ移動	
13:15	クロージングセッション	福祉会館
15:00	解散	JR奥多摩駅

※各プログラムの内容・時間は多少変更する可能性があります。
予めご了承ください。

5.訪ねる土地のこと



東京都の最北西端に位置する**奥多摩町**は、全域が秩父多摩甲斐国立公園に含まれ、東京の奥庭として親しまれています。東京都の10分の1に当たる225.53平方キロメートルという広大な面積を有し、大部分は山岳によって隔てられ、町の中心を多摩川が西から東へと貫流しています。



6.宿泊施設・お持ち物について

Circus Outdoor TOKYO

住所：東京都 西多摩郡奥多摩町 290-1

<http://circusoutdoor.com/>

東京の森の奥深くにあるアウトドアフィールド。東京とは思えぬ程の大自然が残る奥多摩で、室内と大自然を隔てるのはたった一枚の布から出来たテント。テント内は、それぞれのコンセプトを元に設えられた個性的なお部屋で非日常体験をお楽しみいただけます。

＊宿泊は、お1人様一つのテントにご宿泊いただきます。

<イメージ>



<お持ち物>

・宿泊施設にて用意しているアメニティは以下の通りです。
タオル、バスタオル、シャampoo、コンディショナー、ボディーソープ、歯ブラシ、ドライヤー、コットン、綿棒、ティッシュ

※パジャマの用意はございませんので、ご持参ください。

・**雨具**：山の天候は変わりやすいので、カッパ・傘をお持ちください。

・**その他**：マスク、水筒、常備薬、保険証、テレワーク用のパソコン、充電器、体温計など。

<服装>

・汚れても構わない、動きやすい服装でお越しください。
・奥多摩町は都心よりも気温が低く、特に森の中は冷え込む場合がありますので、1枚多めに着込んでお越しください。
・森林セラピーのプログラムでは、2時間程度歩きます。履きなれたトレッキングシューズ、スニーカー等でお越しください。

7.協力団体のご紹介

一般財団法人おくたま地域振興財団

<https://www.okutama-therapy.com/okutamazaidan.php>

ご担当者様：齋藤 美保子さん

自然豊かな奥多摩町の森林を活用した活動及び森林環境の保全などに取り組んでいます。1日目の森林セラピー体験プログラムで、ガイドをしていただきます。

東京・森と市庭（もりといちば）

<https://mori2ichiba.tokyo.jp/>

ご担当者様：菅原 和利さん

奥多摩町氷川にある木育遊具・森林体験を提供する会社。1日目午後のプログラムで、製材所見学後、森と市庭の活動、および都市の人と森がつながるための取組についてお話いただきます、質疑応答、ディスカッションをします。



Okutama+

<https://okutamaplus.com/>

ご担当者様：鈴木海斗さん

奥多摩町の廃校になってしまった旧古里中学校を拠点とし、創造的な活動を応援するコミュニティスペース。2日目に、テレワーク施設・設備を見学後、実際にテレワークをご体験いただきます。



別添 18

ビジネスパーソン向けツアーの FRaU 掲
載記事（前編）



登計トレイル内にある、ツアー参加者が利用できる森のリビングルームにて休憩中の一コマ

2020.12.29 #15陸の豊かさを守る #8働きがいと経済成長 #SDGs #仕事 #コロナ

森林空間から見出す、ポストコロナ時代における新たな価値観とは【PR】

人と森林をつなぐ探求ツアー（前編）

**FRaU編集部**

プロフィール

シェア

ツイート

ブックマーク 0

LINEで送る

とどまることを知らない新型コロナウイルスの感染拡大。テレワークの普及、オンラインビジネスの発展や東京近隣県への移住者の増加など、これまでの常識が大きく覆された。

そこで、「地域づくり・人づくり・組織づくり」を手がけるコンサルティング企業「かいほつマネジメント・コンサルティング」と、人と自然の共生を目指す一般社団法人 森と未来は、林野庁事業「令和2年度 つたえる、感じる、つながる、森林×SDGs プロジェクト事業」の一環として、森林空間の価値と可能性を見出す探求ツアーを実施。東京とは思えぬ豊かな自然に恵まれた西多摩郡・奥多摩町を舞台に、これからの働き方、ライフスタイル、ビジネスを通じ、ポストコロナ時代における在り方を見つめ直す貴重な時間となった。

参加したのは、持続可能な未来に向け、さまざまな分野で活躍する5名のリーダー





左から順に

ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス株式会社 取締役 人事総務本部長

島田由香さん

働く場所や時間を社員が自由に選べる人事制度「WAA(Work from Anywhere and Anytime)」やワーケーションを推進。林野庁「森林サービス産業」検討委員。

FRaU編集長兼プロデューサー 関龍彦

2018年に女性誌としてはおそらく世界初となる「1冊まるごとSDGs特集」を刊行。メディアの“伝える力”を通じたSDGs推進に取り組んでいる。

株式会社SANU 創設者、ブランドディレクター本間貴裕さん

自然と共にある生活“Live with Nature”を提案するライフスタイルブランド「SANU」を展開。都市住民向けにセカンドハウスのサブスクリプション型事業を行う。

NPO法人ミラツク 代表理事、国立研究開発法人理化学研究所 未来戦略室

イノベーションデザイナー 西村勇哉さん

セクター、職種、領域を超えたイノベーションプラットフォームの構築と、大手企業の未来構想の設計・開発、事業創出支援に取り組む。京都を拠点に、10年に渡り多拠点分散型の100%リモートで働く組織を運営。

株式会社ダンクソフト 企画チーム ダイバーシティ推進マネージャー

中香織さん

「デジタルで人を幸せに」を掲げるIT企業「ダンクソフト」で初めて育児休業を取得。実体験から社内の規定類の整備や申請方法の見直しなど、社員が働きやすい環境整備に取り組んでいる。

舞台となった奥多摩町は、東京都の最北西端に位置し、全域が秩父多摩甲斐国立公園に含まれている。東京都の10分の1に当たる225.53平方キロメートルという広大な面積を有し、大部分は山岳によって隔てられ、まちの中心を多摩川が西から東へと貫流。都心から電車で約1時間半、雄大な自然を感じられるお出かけスポットとして親しまれている。

泊まれる学校でワーケーション

1	2	3	4	>
---	---	---	---	---

コワーキングスペースを完備“泊まれる学校”

新型コロナウイルスの感染リスクを減らすために定着しつつあるテレワーク。その影響により、満員電車が減り、街中のカフェでパソコンに向き合う人の姿を多く見かけるようになった。そんなポストコロナ時代の新たな働き方の選択肢にくわえたいのが、廃校となった旧古里中学校をリノベーションした泊まれる学校「OKUTAMA+」だ。

奥多摩町は、少子高齢化や若者の都会への流出により、過去30年間で居住人口が約半数も激減。

「OKUTAMA+」は、大自然に囲まれたこの場所で、出会いの創出や創造的な活動を行うことで地域の活性化を目指している。また、テレワークの普及により“仕事”と“旅行”を組み合わせたワーケーションを楽しめるスポットとしても注目を集めている。



JR川井駅より徒歩約15分。ここ旧古里中学校は、旧立氷川中学校の合併により奥多摩中学校が新設されたことで、2014年に廃校となった

2020年1月にオープンした建物内は、地元（多摩産）の木材をベースにリノベーションされており、足を踏み入れた瞬間に、木のやさしい香りが漂うリラックス空間に包まれる。

ドミトリー、個室などのタイプ別宿泊スペース、Wi-Fiを完備したコワーキングスペースなどがあるほか、黒板や机など手付かずのまま残した教室や理科室などは、撮影やイベント時のレンタルスペースとして提供している。





コワーキングスペースは、1日、ウィークリー、マンスリーで利用できる。料金は2,000円（税込）～ 予約制

大人数での参加にも余裕で対応できる広々としたコワーキングスペースから少人数のテレワークの会議室まで、全7部屋用意。もちろんWi-Fi完備、棚には漫画やビジネス書などが並ぶ。パソコンからふと視線を離すと、窓の向こう側には季節のうつろいとともに色を変える木々が広がり、その美しい眺めが心を静かに癒してくれる。

窓際に立ちながら仕事ができるハイテーブルが置かれたスペースでは、「座って仕事をするのが苦手だからうれしい」と、株式会社SANU 創設者、ブランドディレクター本間貴裕さん。



個人から団体まで、デイリー使いに適したドミトリタイプ。1泊5,000円（税込）～予約制 ぐっすり眠れると好評なのだそうです

コワーキングスペースだけの利用はもちろん、そのまま宿泊することもできるのが「OKUTAMA+」のユニークなところ。まるでカプセルホテルのようなドミトリタイプは、ベッド下の空きスペースにソロワークルームが設けられている。



デスクと椅子、衣装ボックスまで完備。コンパクトな空間とはいえ、思ったより窮屈さは感じられない

美しく整えられたベッドルーム、シャワールーム、家庭科室を活用した自炊スペースなども完備。冷蔵庫、食器、調理器具もそろっているため、長期滞在にも最適だ。





参加者全員が「懐かしい！」と口をそろえた教室の一部は、ベッドを並べて宿泊ルームに。個室タイプは定員4名で1名から利用可。1泊24,000円（税込）～予約制

「OKUTAMA+」では、“学べる場”としてさまざまなワークショップやイベントも開催している。また、パソコン仕事に疲れたら、校庭でキャッチボールをしてリフレッシュしたり、近場にある緑に囲まれたカフェでおいしい食事を楽しんだり、美しい多摩川を眺められる絶景スポットまで足を伸ばしてみるのも良い。

たまには、いつもの職場を抜け出して、環境をガラリと変えてみることをおすすめしたい。ポストコロナ時代の働き方にルールなんてない、自由なのだと気づかされるだろう。

DATA

OKUTAMA+

東京都西多摩郡奥多摩町川井594

TEL : 0428-85-8575

<https://okutamaplus.com/>

森林を支える林業の可能性

一本の丸太から製品ができるまで。林業の流通とは？

飲食物の包装、歯ブラシ、キッチン容器をはじめ、私たちの身の回りにはプラ製品であふれている。郊外や地方に比べ緑が少ない都心に住む人たちは、CO2を吸収し、雨水を蓄え、生物多様性の保全など、私たちの暮らしを影で支える森林を、身近に感じながら暮らすことはまず難しいだろう。

そんな森林を支える林業が、一体どのような過程で流通し、成り立っているかを知るために、「東京・森と市庭」を訪問。子どもの頃から木材を身近に扱うことで、人と森との関わりについて主体的に考えられるよう、幼稚園、保育園、小学校などで使われる木育遊具や森林での遊びと学びを提供。製材所では、丸太から板になるまでのプロセスを間近で見学させてもらえる。



製材所に積み上げられた多摩産の間伐材

本来ならば、原木市場で丸太を競り落とし、そこから製材所で木材を加工し、材木屋をはじめとする流通業者を経て、ハウスメーカーや工務店をはじめとする業者が製材所から柱などの木材製品を購入する。ところが「東京・森と市庭」では、木材の伐採から、消費者へ届けるところまで一貫して行っている。



「東京・森と市庭」営業部長 菅原和利さん

幼い頃から木に触れさせる木育は、将来子どもたちが木のある暮らしを取り入れる原体験につながる。「以前、遊具を提供した保育園の先生が『今の世の中は、バーチャルな遊びがあふれています。暮らしの中に木材を取り入れることは、感覚を研ぎ澄ますことにつながる』とおっしゃっていましたが、私たちが実践しようとしているのは、まさにそういうことです」と、語るのは「東京・森と市庭」営業部長 菅原和利さん。

「東京・森と市庭」がメインでマネタイズしているのはオーダーメイドの木育遊具。例えば「園内にあるいちろうの木を使って、何か面白いものをつくれませんか？」という保育園からのリクエストにツリーハウスを、「教室に整頓スペースが欲しい」というリクエストには収納棚をつくったり。また、木製の虫眼鏡や鳥の鳴き声に似た音になるバードコールをつくるなど、子どもたちに“本物の木材”に触れ、遊んでもらいながら木材の付加価値を高めるためのおもちゃづくりも行っている。





伐採した丸太の皮を向き、板割りをしたのち丁寧に削られた木材のなめらかな手触りに驚く一同

さらに森林空間を利用して起業したい人をターゲットにしたワークショップの開催や、2020年11月には、日本郵政とともに、奥多摩町の山頂にある家ヘドローンを使い物資を届ける空中輸送の検証をするなど、あらゆる角度から森林の可能性を伝える活動を続けている。





職人の手により丁寧に作られた美しい製品。木材でできた猫のキーホルダー300円



ヒノキのお椀10,000円。お椀をつくる過程を見た自閉症の園児が、お椀に向かって「ありがとう」と言ったという心温まるエピソードを聞かせてもらった

今後、少子化の影響により、どんどん子どもの数が減り木育遊具の需要も減っていくかもしれない。

「東京・森と市庭」の将来像について、営業部長 菅原和利さんは次のように答えた。

「これからは、保育・幼稚園も選ばれる時代になっていくのではないのでしょうか。流行りの人気キャラクターを好む園と、森林など自然との距離を大切にしている園。園長先生の価値観によって園の経営理念はまったく異なります。この先、私たちは“木育”の継承者として、自然と仲良くなれる“日本なりの遊具の在り方”を木育遊具といった形で、中国や台湾など海外に向けても伝えていけたらと思っています」

これまで木材の魅力がうまく企業に伝わらず、本質的な部分ではないところが評価されるなど、苦しい時期も長かったという。けれど新型コロナウイルスの影響でソーシャルディスタンスを保たなくてはならない昨今、求められているのは森林空間であることを再認識した菅原さんは、「今ならもっと森林の良さを伝えられるし、分かってもらえるのではないか」と語る。

「森も海もみんなつながっていますよね。森の生態系を守ることは、私たち人間が生きていくうえでいかに重要だと教えていくことが大事。なので、木育遊具などを使って子どもの頃から木に触れて暮

らすというのは、すごく良いことだと思います」（ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス株式会社 取締役 人事総務本部長 島田由香さん）

自然との向き合い方を知るひとつのきっかけとして、「東京・森と市庭」の可能性は、これからどんどん広がりを見せていくだろう。

DATA

東京・森と市庭

東京都西多摩郡奥多摩町氷川1075

TEL : 0120-022-318

<https://mori2ichiba.tokyo.jp/>

心身の健康を保つ森林セラピー

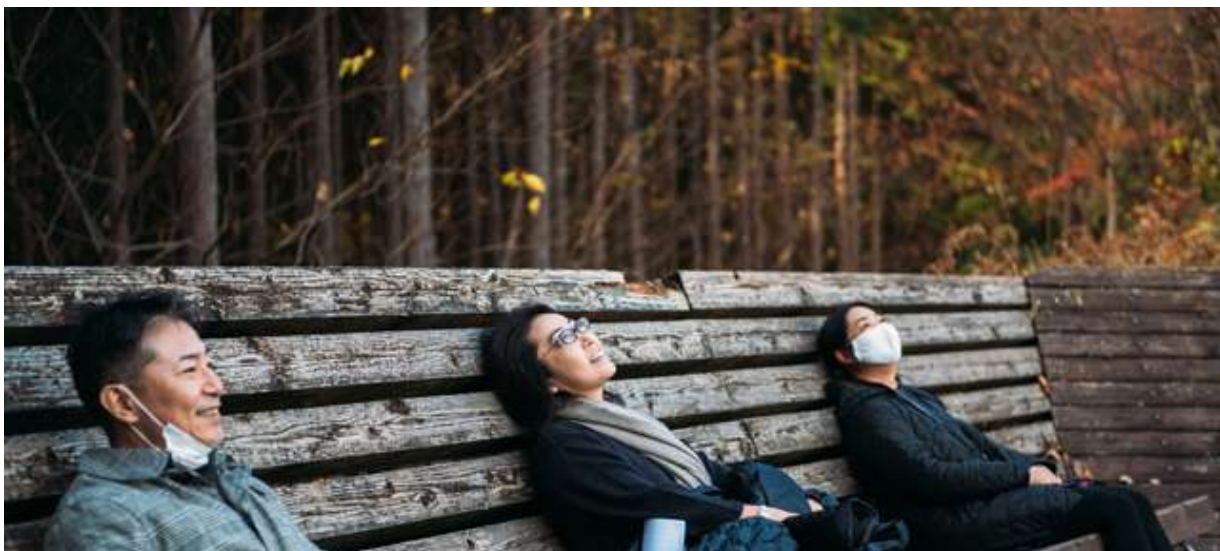
澄んだ空気を吸い込む、森林セラピー

ワーケーションのスケジュールに組み込みたいのが、奥多摩駅より徒歩15分、日本初の森林セラピー専用ロードとして親しまれる「登計トレイル」だ。歩行距離 約1.3キロ、歩行時間 約40分という気軽さながら、奥多摩のうつくしい山々が一望できる絶景トレッキングコースだ。



ガイドは、森林保全に取り組む一般財団法人おくたま地域振興財団 齋藤美保子さん。体が不自由な方にも利用いただけるように「車椅子用モノレール」を設置している

比較的緩やかな傾斜なうえ、遊歩道にはスギやヒノキのチップが敷かれクッション性があるため歩きやすい。澄んだ空気を吸い込みながら歩き進めると、ところどころにベンチや椅子が設置されており、いつでも休憩できるようになっている。





空や星を眺められるようにと、座席が斜めに設計されている。「深呼吸するだけで気持ちが楽になる」（FRaU編集長兼プロデューサー関龍彦）

訪れたのは紅葉の見頃を終えたばかりの11月下旬。びっしりと冬芽をつけた木々の枝や、指でこすると天然アロマのようなやさしい香りのするカツラの葉、まだ20センチにも満たない小さなスギやヒノキの稚樹をはじめ、森林をゆっくりと歩き進めると、めずらしい木々や実、さまざまな野鳥や虫に出会うことができる。



春を静かに待ちわびるような冬芽





切り株から育つスギの稚樹が仲良く並ぶ

トレッキングの中盤にぜひ取り入れたいのが“森のお昼寝”。本当に眠るわけではないが、断熱シートの上に横たわり、深呼吸をしながら静かに目を閉じると、深いリラックス状態に導かれる。鳥の声や風に揺られ葉が重なり合う音が、静まり返った森林にやさしく響いていることに気づく。

「海や山と違って『森に行く』とは、あまり聞かないように、『森』そのものが、人々の生活に入り込んでいない。もっと森を身近に感じてもらうためには、どうすれば良いかが課題ですね。例えば、『東京・森と市庭』を見学したように、会社が自然に触れる機会をつくる仕組みを取り入れれば良いのでは」（株式会社ダंकソフト 企画チーム ダイバーシティ推進マネージャー中香織さん）





目を閉じてたったの10分足らずの休息でも、眠ってしまう人もいるのだとか

「奥多摩森林セラピー」に申し込みをすれば、トイレやキッチン、暖炉にテーブルのある素敵なロッジを利用することができる。ツアーにはお弁当がついてるのでみんなで食事をしたり、お茶を飲んだり……と、全方位うつくしい草木に囲まれたガラス張りの部屋で過ごす贅沢なひと時は、森林空間の在り方を考えさせられる貴重な時間となるだろう。



休憩施設「ステーション2」は、「奥多摩森林セラピー」への申し込みが必要となる

DATA

一般財団法人 おくたま地域振興財団

東京都西多摩郡奥多摩町氷川215-6

TEL : 0428-83-8855

<https://www.okutama-therapy.com/>

森林空間の価値と可能性を見出す探求ツアー後編では、素敵な宿泊施設にて参加者によるトークセッションの様子をお届けします。

撮影／嶋田礼奈 取材・文／大森奈奈

別添 19

ビジネスパーソン向けツアーの FRaU 掲
載記事（後編）



2021.02.09 #15陸の豊かさを守る #8働きがいと経済成長 #SDGs #仕事 #コロナ

「今度、森でコーヒー飲もうよ」森林はもっと身近であっていい【PR】

人と森林をつなぐ探求ツアー（後編）

**FRaU編集部**

プロフィール

シェア

ツイート

ブックマーク1

LINEで送る

壮大かつ美しい山々に囲まれた東京都西多摩郡・奥多摩町。都内とは思えぬ自然豊かなこの町を舞台に、これからの働き方、ライフスタイル、ビジネスを通じ、ポストコロナ時代における森林空間の在り方を見つめる探求ツアーを実施。前編に続き、後編ではツアーのメインプログラムでもある参加者5名のリーダーによるトークディスカッションの様子をお届けします。アフターコロナに向けて、働き方、暮らし、人生における価値観が変化しつつある今、そしてこれからの時代から見る森林空間の価値とは？

前編の記事は[こちら](#)からチェック！

持続可能な未来に向け、さまざまな分野で活躍する5名のリーダー

ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス株式会社 取締役 人事総務本部長**島田由香さん**

働く場所や時間を社員が自由に選べる人事制度「WAA(Work from Anywhere and Anytime)」やワーケーションを推進。林野庁「森林サービス産業」検討委員。

FRaU編集長兼プロデューサー 関龍彦

2018年に女性誌としてはおそらく世界初となる「1冊まるごとSDGs特集」を刊行。メディアの“伝える力”を通じたSDGs推進に取り組んでいる。

株式会社SANU 創設者、ブランドディレクター本間貴裕さん

自然と共にある生活“Live with Nature”を提案するライフスタイルブランド「SANU」を展開。都市住民向けにセカンドハウスのサブスクリプション型事業を行う。

NPO法人ミラツク 代表理事 / 国立研究開発法人理化学研究所 未来戦略室**イノベーションデザイナー 西村勇哉さん**

セクター、職種、領域を超えたイノベーションプラットフォームの構築と、大手企業の未来構想の設計・開発、事業創出支援に取り組む。京都を拠点に、10年に渡り多拠点分散型の100%リモートで働く組織を運営。

株式会社ダंकソフト 企画チーム ダイバーシティ推進マネージャー**中香織さん**

「デジタルで人を幸せに」を掲げるIT企業「ダंकソフト」で初めて育児休業を取得。実体験から社内規定の整備や申請方法の見直しなど、社員が働きやすい環境整備に取り組んでいる。

日本の国土面積約7割を占める森林の価値に気づいていない

宿泊したグランピング施設「Circus Outdoor TOKYO」で焚き火を囲みながら繰り広げられた、熱いトークディスカッションの一部始終をレポート！





場所や時間を社員が自由に選べる働き方やワーケーションを推進する島田由香さん

島田由香（以下島田） 日本は、国土面積の約7割が森林なのに、その希有な魅力にみんなの意識が向いていませんよね。私が専門とする「ウェルビーイング」の観点から考えると、トレッキングや森林浴など、たった30分でも森の空気を吸って、マインドフルネスの状態をつくることは、ウェルビーイングを確実に高めると実証されています。例えば、森の中でもWi-Fiがつながっている、絶景が見渡せるスポットにパソコンが置けるテーブルとイスがあるなど、仕事ができる環境が整うととっても良いのでは。

「オフィスにいないと仕事ができない」という概念は取り去られてきています。**森林空間をどうワークプレイスのひとつにしていくかが重要**じゃないかな。企業が率先して森林空間で過ごす機会を取り入れれば、仕事のパフォーマンス向上にもつながるので良いことしかないんですよ。

関龍彦（以下関） 農林水産省のことも「農水省」と略しますもんね。なぜ「林」を抜くのかと。森林浴という言葉が日本で生まれたのも、きちんとエビデンスがあるからでしょう。森林という宝が日本には7割もあるのに、私たち国民は森林の存在を忘れがちです。

人は潜在的に自然を求めている

1	2	3	4	5	>
---	---	---	---	---	---

中香織（以下中） 海や山と違って「森に行く」とはあまり言わないし、聞かない。例えばゲームの「どうぶつの森」みたいに、**森をもっと生活の中に落とし込む**というか、身近なものにするために対策を考えなくてははいけませんよね。

本間貴裕（以下本間） そもそも人は、歴史上都心に利便性や安全、楽しさを見出して集ったわけですが、いざ緊急事態宣言が出たら、みんな都心から離れたがる。**やっぱり人は自然と切り離しては生きられない**ということは、みんな心の中で感じていると思う。そんな人の本質的な部分が露呈した今、コロナが収束して元の状態に戻る前に、私たちは何を楔として打つのか。それはWi-Fiかもしれないし、風通しが良いホテルかもしれない。奥多摩に来るまでの車内で仕事ができる環境づくりかもしれない。今、何かしら自然へ出かけていく理由としての楔を打つプレイヤーの存在が、この先社会を大きく変えるために必要だと思います。



「奥多摩でいちばんいい土地をください（笑）」と冗談を言う本間貴裕さん

西村勇哉（以下西村） **森林と人の間に精神的なつながりを持たせる**ということですね。

本間 昔の人たちは、暮らしにおけるすべてを近隣の森林から得ていた。時代が進むにつれ、食料が輸送できるようになり、物理的に人と森に距離が生まれたために、森に感謝することがなくなったし、近隣の森が廃れても何とも思わなくなってしまう。**大切なのは「生きている実感」**。森林との距離を縮めることが、実感を得ることにつながっていくのかな。例えばキャンプって、生きることの疑似体験をしていると思うんです。ご飯をつくるのも、寝床を準備するのもめっちゃくちゃ時間がかかるし、ぼーっと1時間くらい景色を眺めていたら、それだけで一日が終わる。本来の暮らしはそれく

らいに忙しいはずなのに、家電に頼っている僕たちは、暮らしを営む＝生きることに直結しなくなっ
てしまっているのではないか。

これまでは、事業を成功させて大金を稼いで、いい車に乗ってブランドものを持って……という暮らしが豊かだとされていたけれど、それは嘘だということ、みんなもう気付いてますよね。そう考えると、本当の豊かさ、何を生きている実感にするのか。そこへみんなの意識が戻ってきていると思います。

西村 毎日忙しく働いていると、生きていると実感しにくいのかな。そんな人にこそ、森林を訪れてもらえるような仕組みをつくれたらいいですね。

関 森林を歩いていると、息をするだけで気持ちが楽になれますからね。朝日放送テレビの「ポツンと一軒家」が高視聴率なのも、みんな潜在的に自然とのつながりを欲しているのではないのでしょうか。その部分を自然に引き出せる何かができてれば良いですね。

人と森の距離を縮めるには

森林との距離を縮め、関わりを深めるには

島田 自然に囲まれた温泉地に大勢の人が行くように、誰もが自然とのつながりをどこかで感じているはず。温泉は心身の回復力、つまりレジリエンスを高めるともいわれています。レジリエンスを高めさえしておけば、体調を多少崩しても、気分が落ち込んでも回復できる。そのためのツールのひとつとして森林があればいいのでは。

また、**森林につくまでの道中の過ごし方も重要**になってきます。例えば奥多摩の場合だと、都心から電車に乗って約1時間半で着くのでアクセスはしやすいけれど、座席が横並びのロングシートのみなのでパソコンを開いてちょっとした仕事をすることができないし、くつろげない。新幹線のようにクローズドな空間にしたりと、もっと快適に、便利に、楽しく過ごせる工夫があるとワークプレイスとしての魅力がさらに高まるのではと思います。

関 やはりエンターテインメントに落とし込んでいく必要があると思います。私の場合「FRaU」という女性誌を通じて「森林に行ってみたい」そう思わせる楽しさを提示したい。日本でいう**温泉のように森林浴がメジャーなエンタメのひとつになればいい**ですね。

中 「登計トレイル」で食べたお弁当のように、“おいしいもの”に出会えるというのも魅力のひとつですね。



社員が働きやすい環境整備を行う中香織さんの会社は、昨年3月から現在も従業員全員がテレワークを継続中だそう

島田 そうですね、やっぱり“楽しい”と“おいしい”があれば、人はそこへ行きたいと思う。

本間 最近、僕たちの間では「美味しくないご飯が食べたいね」と話してるんです。どういうことかというと、子どもの頃に食べた祖母がつくる油でびちょびちょの天ぷらが一周まわって今、恋しいというか。当時は「おいしくないな」と思っていたのに、いざ祖母が他界し、食べられないと思うとすごく寂しい。カリッと揚げた高級で美味しい天ぷらはもちろん東京で食べられるわけで、祖母がつくるようなべちゃった、けれどあたたかくて想いがこもった天ぷらが食べたい。

そう考えると、味や食材の高級さよりも、**人のあたたかみを感じる、なんてことのない手料理を食べる方が実は人は豊かなのかな**と。なので、その土地でしか食べられない、なんでもないけれど想いのこもったものを堂々と出す店の方が、価値がある気がします。

島田 確かに。「あの店の大将にまた会いたい」が、その土地へ向かう理由になりますもんね。あと、社内の役員会議を森林でやるのもいいかなと。壁のない空間でディスカッションしたら、どんなことが起きるのか？ というのを体験してみるのも、すごくいいアクションだと思います。

西村 いいアイデアですね。あと、集中力が落ちて思うように仕事が進まない状態で一週間働くくらいなら、「ちょっと森林へ行ってきます」と、潔く休暇をとるのもいい。



京都を拠点に、多岐点分散型の100%リモートで働く組織を運営する西村勇哉さん

欲しいのは、森林の空き土地リストの開示

関 みんなで森をつくる「FRaUの森」みたいな（笑）プラットフォームを立ち上げて、インフラ的な仕組みをつくれたらステキだなと。国有林に恵まれた日本だからこそできることは、たくさんあると思います。



自宅でコンポストを利用し循環を意識した暮らしを楽しんでいると話す関龍彦

本間 森林をもっと活用するなら、**空き土地がわかるリストを公表するべきだ**と思います。都心と違って田舎、特に森林は、空き土地の情報が本当に分からない。森林を活用してキャンプ場やグランピング施設をつくりたいという人はたくさんいます。

なのに、空いてる土地情報を取ろうとするとめっちゃくちゃ難しい。きちんと土地情報をオープンにするだけでプレイヤーが集まってくると思います。そうすれば地価もあがるし町としてのメリットも大きい。

中 最近すっかりテレワークが普及していますが、例えば外部研修のように強制的に森林など自然に触れ合う機会を会社が与えるのがいいのでは。

島田 例えば森林と屋内で同じパズルをやってみて、どっちが何分早く完成したとか、ディスカッションで出たアイデアの数を出すとか、脳や心理状態の測定の比較はやってみたいですね。具体的に使えるデータが日本はまだあまりないので。

西村 森林にはもっと**研究者を入れて、関心の知見を深めた方がおもしろくなる**のでは。植物学者もちろんだけど、森林と関わりの薄い社会学系や教育学者、心理学者が良いと思います。

今度、森でコーヒー飲もうよ

課題解決を目指すための3つのテーマ

ツアーの締めくくりに行われたクロージングセッションでは、5名のリーダーにくわえ、今回のツアーでお世話になった一般財団法人おくたま地域振興財団、「OKUTAMA+」「Circus Outdoor TOKYO」のみなさん、ツアーの運営スタッフも参加。森林での楽しみや過ごし方を伝えるための取り組みや課題の解決法などについて意見を交わし、議論を深めました。



4つのグループに分けて約20分のディスカッション

まず、奥多摩で働くメンバーが感じている課題について話を伺いました。

一般財団法人おくたま地域振興財団 岩崎恵子さん

「今回のツアーではみなさんに森林の魅力を体感いただき「すごく良かった！」という声をいただきましたが、やはりその“体感”がすべてです。なので、まだ体感されたことのない人に足を運んでもらうためにはどうすれば良いのか。そこが課題ですね。とはいえ、コロナ禍により森林セラピーの問い合わせは、非常に多くいただいています。私たちは普段から少人数制で行っているので、3密を避ける今、都心に住む方々に目を向けていただいている実感があります」

OKUTAMA+ 総括プロデューサー 鈴木海斗さん

「春夏に比べ、紅葉終わりから2月頃までの集客が難しいこと。奥多摩町全体的に観光客が激減する冬は、ほとんどのレストランが店を閉めます。そうすると、僕たちの施設を利用してもらう導線そのも

のが途切れてしまいます。もうひとつの課題は、リピートしてもらうためにはどうすれば良いか、というところでしょうか」

Circus Outdoor TOKYO 副代表 田中シュナイダー茜さん

「コロナの影響で宿泊人数は増えている一方で、スタッフの確保に苦労しています。今まで優秀な人材確保を都心から行っていたのですが、外出自粛要請により今までのように自由に移動ができなくなったためです。奥多摩町には高齢の方が多く、若い世代の人材を探すのは簡単ではありません。オープンして3年ほど経ちますが、現在も少人数体制で事業をまわしているのも、地元の方々との関係性を築く時間や余裕がないところも課題ですね」



左から・OKUTAMA+ 総括プロデューサー鈴木海斗さん、カヌー工房「Mountscape Canoe Craft」代表の山崎邦彦さん

そんな奥多摩町で働く人と、都心で働く参加者たち。暮らす環境は違えど、これからの時代を生きる者同士として、改めて考える森林の在り方とは？ 下記の3つのテーマに基づきグループごとにトークディスカッションを行いました。その結果をご紹介します。

<森林の価値>

- ・都心に比べ季節のうつろいや匂いを感じやすく飽きない魅力がある。
- ・殺菌力やリラックス効果のあるフィトンチッド（植物が放出する揮発性物質）のパワーを実感できる。

- ・生命の量と種類が多い。（生命に触れる学びを深める取り組みを行うと価値を引き出せる）
- ・内省して自身の輪郭をはっきりさせてくれる。

＜森林と関わる機会＞

- ・海に比べ森林に警戒心を抱く人が多いので、ハードルを下げる仕掛けをする。（ウイスキーロックではなくハイボールのような、気軽に飲めるように味を薄める）
- ・森林ではなく森林が好きな人とつながりを持つ。
- ・メディアに露出しても一過性で終わってしまうので、持続的にアピールできる強みを確立させる。
- ・わくわく、楽しい、美しいなど、気分が高まるエンターテインメント性が必要。
- ・森林の生命体である木をつかって人と森林をつなぐような仕組みをつくる。

＜アピール（発信）の内容＞

- ・森林でどんなことが体験できるのか、想像しやすいような情報が必要。
- ・初心者に向け「Circus Outdoor TOKYO」「OKUTAMA+」のように、きちんと休める場所があることを伝える。
- ・さまざまな魅力がある中でひとつ大きな柱のようなアピールできるものを固める。
- ・「週末、森でコーヒー飲みに行こうよ」と、気軽に遊びに行けるブランド力があるといい。

最後は、ツアー主催者である林野庁事業「令和2年度 つたえる、感じる、つながる、森林×SDGs プロジェクト事業」を代表し、林野庁 根岸由佳さんの挨拶で締めくくりました。

「今回は実際に森林に触れた生の声を聞かせてくださりありがとうございました。私自身もこれまで知らなかった新たな価値に気づくことができました。森林は、木材の生産を行う場所というだけでなく、その空間自体に素晴らしい価値があります。ふらっと森林にコーヒーを飲みに行くように、もっと身近に感じてもらうにはどうすれば良いのか？ その答えにつながるヒントをたくさんいただくことができました」

豪華テントで過ごす夜

宿泊先は「何もしないことをする」アウトドアフィールド

一泊二日で行われた本ツアー。宿泊に訪れたのは、奥多摩湖のほとりに佇むアウトドアフィールド「Circus Outdoor TOKYO」。「人間と自然が共存する50年後の人間社会を研究する森」をテーマに、都内の森に世界一美しいアウトドアフィールドを創るべくグランピング事業を展開する「株式会社 NOX Intervillage」が手がける話題のスポット。「何もしないことをする」ことを目的としたここは、360度自然に囲まれた国立自然公園の中にあります。



料金は食事付き1泊1人 ¥35,000円（税抜）から。アクセスは奥多摩湖沿いを走る国道沿いにあるバス停「中奥多摩湖」より徒歩3分

国道から坂道を少し登り森の奥深くに進んでいくと、客室となるテントが5つ。まるで小さなコミュニティのような演出に心が踊ります。“世界中を旅するサーカス団”をテーマに、それぞれ異なるコンセプトのもと世界中から集められた家具やインテリアで設えられた幻想的な空間は、まるで映画の中に飛び込んだような非現実感が味わえます。





サーカス団長の控え室をイメージした宿泊ルーム「Pink Elephant」。厳しくも心優しい団長が愛した家具たちがお出迎え Photo by Circus Outdoor TOKYO

ディナーは、世界中から集められた希少な食材を用いたフルコースを日替わりで考案。この日担当したシェフは、創作フレンチが得意な竹矢匠吾シェフとサービススクールの若林佳太さん。ここでしか味わえない珍しい食材に出会えるのも、楽しみのひとつ。



エディブルフラワーもおいしくいただきます

メープルシロップ、シェリー酒ビネガーを使った前菜から、発酵きのこのクレープ、ぱりぱりのほうれん草とパウダー状にした菊をまぶしたホタテのソテー、エディブルフラワーを散らしたマグロのタ

ルタル、骨つきラムのグリル、デザート的全8品。



ほんのり甘いソースが、お肉のおいしさを引き立てていました

「おいしい！」と各テーブルから聞こえてきた料理は、どれも素材のうまみを活かした繊細な手仕事
が光るものばかり。料理がテーブルに運ばれてくるたび、意外な食材の組み合わせや、サプライズの
つまった盛り付けにみなさん興味津々。ユニークな演出のおかげで会話もお酒もすすみ、終始にぎや
かなディナータイムになりました。

前編と後編に分けてレポートした森林空間の価値と可能性を見出す探求ツアー。東京・奥多摩町の森
林の魅力をたっぷりとお届けしました。コロナ禍によりさまざまな価値観が変わった今、森林の価値
について考え、その可能性に気づくきっかけになったのではないのでしょうか。

撮影／嶋田礼奈 取材・文／大森奈奈

<	2	3	4	5	6
---	---	---	---	---	---